

山梨県内乳幼児のアレルギー性疾患の実態と要因についての研究 第1報

—県内保育園児保護者へのアンケート調査の結果—

石 黒 国 雄・橘 田 芳 子

A Study on Actual states and Causes from Allergies discussed in Yamanashi Prefecture (1)

Kunio ISHIGURO, Yoshiko KITTA

I 序

物質文明が急速に進歩した今日、物質的に豊かな生活が保証されている反面、家庭生活や社会生活の環境変化によって、心身の健康面に様々な悪影響が現れてきている。つまり、便利さを求める物質文明の進歩は、依頼心、依存心を強めて他律的になり、過保護な生活を送ることによって現代（文明）病が増加する結果を招いているものと考えられる。

物質文明の急激な進展が、近年の大気汚染、食生活の変化、住宅環境の変化、家庭や地域社会での人間関係の変化などが、様々なストレスの増加となって、間接的、直接的に影響し色々な異常や病変が現れている。ことに、未成熟で成長期にある乳幼児に影響が強く、深刻な社会問題としてクローズアップされてきている。

それらの問題の一つとして取り上げられる、アトピー性皮膚炎、花粉症を含むアレルギー性鼻炎、喘息、食物アレルギー、ダニアレルギーなどの、様々なアレルギー性の疾患が急増しているのが現状であろう。これらのアレルギー性患者は、全国的に見ても2,000万人以上とも推定され、国民の6人に1人の割合で罹患していると推定されている。なかでも、アレルギー性鼻炎（花粉症）は1,120万人、湿疹・アトピー性皮膚炎は630万人、喘息は340万人にも達しているとされ、特に乳幼児の疾患

者が激増して、深刻な問題として取り上げられ、その対応が検討されているところである。

山梨県は、本州のほぼ中央に位置し、形状は東西および南北ともに90 kmのおおむね円形で、最高地点は富士山頂の標高3,776 m、最低地点は、静岡県境の富士川河川敷で標高98 mであり、総面積は4,465.37 km²（全国総面積の約1.2%）となっている。

山梨県のほぼ中央に、平均標高285 mの甲府盆地があり、甲府盆地を除くと平坦地は極めて少なく、県土の約78%が山地に属しており、典型的な山岳地形がいたるところに展開している。そのため、気候条件である気温、降水量を含む湿度、日照時間などは、地域によってかなり差異が認められているが、県内の殆どの地域は甲府盆地を中心にした内陸性気候であり、さらに、富士山や南アルプスなどでの山麓地域での、山岳気候とに分類することができる。

このような自然環境に恵まれた地域に生活する県民にとっては、健康の面でも大変恩恵を受けているところであり、結果として、日本でも有数の長寿県となっていることでも証明されているところであろう。しかし、現代の物質文明の急激な進歩は、日常生活の省力化、簡素化を招き、生活水準が一段と向上してきている反面、これらの自然の厳しさや、高度化され多様化された社会環境に適応できなくて、様々な現代（文明）病が増加しているのも事実のことであろう。これらの現代病

で苦しみ、悩んでいる人々の苦痛を軽減し、取り除く手立てを考究する必要に迫られている。

本研究では、急増してきた県民の健康を蝕むアレルギー性の疾患の状況について、山梨県を、甲府市を中心にした甲府地区、櫛形町・八田村を中心にした峡西地区、塩山市・山梨市を中心にした東山梨地区、石和町・八代町を中心にした東八代地区、三珠町・南部町を中心にした峡南地区、韮崎市・大泉村を中心にした峡北地区、富士吉田市・山中湖村を中心にした富士北麓地区、大月市・上野原町を中心にした東部地区の8つの地域に分けて、各地域それぞれ2～3の保育園を選び、保育園児全員の保護者を対象に、保育園児（乳幼児）のアレルギー性の疾患について、今までの罹患状態、現在の罹患状況を山梨県全体について把握するとともに、住環境の実態、家族の状況、食生活、乳幼児の生育歴、などについても明らかにし、さらに、気象状況や住環境の変化、家族関係などの要因をも検討することとした。

II アレルギー性疾患について

1 アレルギー性疾患とは

アレルギー反応とは、生体に悪影響を与える免疫反応のことを指すのである。つまり、アレルギー反応は、抗原抗体反応のうち生体に異常を誘発する反応であり、その中心的役割を果たすのが、蛋白質の一種である免疫グロブリン（Ig）抗体である。免疫グロブリンは血清中の成分で、A、D、E、G、Mの5種あり、その中、IgEがアレルギー反応を起こすとされている。IgEは食物や花粉、ほこりやダニ、動物の毛などの異物に対して作られる。そして、このIgE抗体が全身に広がり、肥満細胞（マスト細胞）や好塩基球などに付着して、前述した様々な異物が侵入するとアレルギー反応が始まるのである。即ち、IgE抗体が花粉などの抗原と結合すると、複雑な反応を起こしヒスタミンやロイコトリエンなどの化学伝達物質が生成され、体の各部に循環して呼吸器、消化器や、皮膚などに様々なアレルギー性の症状が現れるのである。なお、殆どの人がアレルギーの疾患に至らないのは、アレルギー反応を起こす程のIgE抗体を作りださないからである。

アレルギー反応が皮膚や呼吸器、消化器などに

起こると、その部位にさらに好酸球や好中球が集まって炎症反応がひどくなる。また、IgEは血液を介して全身に循環し、アレルギーの炎症反応は全身に現れる。炎症反応が鼻粘膜で起こるとアレルギー性鼻炎、目の粘膜ではアレルギー性結膜炎、皮膚ではアトピー性皮膚炎やジンマシン、気管支では喘息、腸の粘膜ではアレルギー性胃腸炎となるのである。

2 アレルギー性疾患の原因について

アレルギー性の疾患には、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、喘息、食物アレルギーなど様々な疾患があるが、原因や症状は全く異なり、最近には特に幼弱で未成熟な子供に急増しているとされている。このような増加傾向の背景には、単純な要因だけでなく、住環境や生活環境の変化が複雑に絡み合っていることが考えられる。

(1) 住環境の変化とアレルギー性疾患

最近の家屋は外気が遮断され、密閉度が高い家屋が増加し、室温も冷暖房完備で、外気温とは関係なく、快適な温度に保たれ温室化されたことによって、気温の差による皮膚や気道、気管への刺激が軽減され、皮膚や粘膜の抵抗力が衰えて、アレルギー性疾患に罹患しやすくなるものと考えられる。さらに、密閉度が高いために、塵埃やダニ、カビなどのアレルゲンとなる物質が充満している状態を作りだしている。

(2) 欧米型食生活とアレルギー性疾患

今日の食生活は欧米型に近くなったといわれ、動物性脂肪や動物性蛋白質の多い食品を好んで食べるようになった。この獣肉類は消化、代謝される過程でアレルギー性疾患に悪影響を及ぼすアラキドン酸を発生させるのである。

さらに、今日の過食、飽食はアトピー性皮膚炎の素因のある人では、アレルギー性疾患の元凶といわれる免疫グロブリンEの生産を増し、子供のアレルギー性疾患の増加のもととなる。

また、乳幼児の早い時期から鶏卵や牛乳を取り過ぎるのも、食物アレルギーの原因の一つとされている。その他、野菜などの残留農薬、インスタント食品や加工食品に含まれている、食品添加物も悪影響があるとされている。

(3) 大気汚染とアレルギー性疾患

自動車や工場から排出される排気ガスによっ

て、大気中に窒素酸化物、硫黄酸化物などの化学物質が増加し、これらが呼吸のときに気道を刺激し、度重なると呼吸器系のアレルギー性疾患を誘発するとされている。

また、大気中に浮遊する花粉もアレルギー性疾患の重大な原因となっている。

(4) 両親の体質とアレルギー性疾患

子供の両親がアレルギー性疾患に罹患していると、子供にアレルギー性疾患が発症する割合は約2倍になり、片親のみの場合はその率がやや低下していることが明らかになっており、親のアレルギー体質が子供に継承される。しかし、アレルギー性疾患は体質的な遺伝的要因と外的な環境的要因が絡み合って発症するものと思われる。

子供のアレルギー性疾患の多くは、親からの体質的な遺伝と何らかの外的要因（アレルゲンや環境的因子）が加わって発症するものと考えられる。

(5) その他のアレルギー性疾患

衣類（ナイロンなど）や洗剤などの化学物質もアレルゲンとして作用する。

人間関係を中心にした、今日の社会環境の急変が、精神的なストレスを増幅させて、そのことがアレルギー性疾患を引き起こす要因となっている。特に子供の場合、少子家族化、受験地獄などが人間関係に影響してアレルギー性疾患を誘発するものと思われる。

III 調査の方法

1 調査の概要

山梨県においても、最近出生児の数が減少しているのに対して、乳幼児や小学生のアレルギー性疾患に罹患している子供は増加の傾向が認められるとされている。本調査ではこれらのアレルギーの罹患状況を、全県的な視野で調査し、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、食物アレルギーなど各種のアレルギー性疾患の分布状況の地域差やそれらの原因について、住環境や食生活、家庭生活の急激な変化に対応するための改善策の、方法や内容についての示唆を得ようと思いおこなったものである。

アンケート調査は、各地域で選出した保育園児を対象に、保育園を介して調査対象の保護者に記入を依頼して回収してもらった。調査は26設問からなっており、殆どの設問は数個の選択肢から該当するものを選んで自記式で回答してもらった。なお、調査はプライバシーを守るために無記名でおこなった。

2 調査の対象

山梨県を地域的に表1のように、甲府地域、峡西地域、東山梨地域、東八代地域、峡南地域、峡北地域、富士北麓地域、東部地域、それぞれの地域内で、できるだけ地域が重複しないように、2

表1 調査対象

地域名	保育園数	対象園児数	回収園児数	回収率%	調査対象保育所(園)名
甲 府	3	268	211	78.7	北新保育所、和成保育園、敷島保育園
峡 西	2	291	258	88.7	八田保育所、楡形中央保育園
東 山 梨	3	223	207	92.8	赤尾保育園、光明保育園、東雲保育所
東 八 代	2	179	150	83.8	石和町立第二保育所、八代保育園
峡 南	3	192	172	89.6	三珠保育所、常葉保育所、睦合保育所
峡 北	3	270	237	87.8	藤井保育園、明野保育所、いずみ保育所
富士北麓	3	326	311	95.4	富士吉田第一保育所、西桂保育所、平野保育所
東 部	3	193	171	88.6	宝保育所、大月保育園、巖保育所
計	22	1,942	1,717	88.4	

～3の保育園を選択し、各保育園に在籍する総ての園児を対象にアンケート調査をおこなった。保育所(園)の総数は22園、園児の総数は1,942人でアンケート調査の回収数は1,717人であり、回収率は88.4%(夏季休暇中のため、やや回収率が低下したものと考えられる)であった(表1参照)。

3 調査の時期

アンケート調査の時期は、1994年7月から8月におこなった。

4 調査の内容

調査は、以下に述べるような内容でおこなった。(詳細は、付アンケート調査用紙を参照)

- (1) 調査対象の子供の年齢、性別、兄弟の数などの子供の様子
- (2) 家族形態、同居の家族数などの家族の様子
- (3) 子供の今までのアレルギー性疾患の罹患状況
- (4) 家族の今までのアレルギー性疾患の罹患状況
- (5) 子供が住んでいる住宅の構造や様式での生活の様子

(6) 子供の家庭での生活の様子

(7) 子供の食生活についての様子

(8) 子供の妊娠時、授乳期、離乳期の様子

(9) 子供の現在の健康状態

などの内容について、地域別の比較などをおこなった。

VI 調査結果と考察

1 アンケート調査の記入者

アンケート調査の回答記入者は、母が1,669人(97.2%)と大半を占めている。他は父40人(2.3%)、その他、祖父、祖母、12人(1.2%)となっている。

2 調査対象の乳幼児の年齢、性別、兄弟の何子に当たるかについて

(1) 調査対象の乳幼児の性別

男児は890人(51.8%)、女児826人(48.1%)とやや男児が多い結果となっている。

(2) 調査対象の乳幼児の年齢(表2参照)

表2 調査対象の乳幼児の年齢

地域名	子調査の対象数	年齢項目	0歳 0.5歳	0.5歳 1.0歳	1.0歳 1.5歳	1.5歳 2.0歳	2.0歳 2.5歳	2.5歳 3.0歳	3.0歳 3.5歳	3.5歳 4.0歳	4.0歳 4.5歳	4.5歳 5.0歳	5.0歳 5.5歳	5.5歳 6.0歳	6.0歳 6.5歳	6.5歳 7.0歳	無記入
甲府	211	人数 %	1 0.5	4 1.9	8 3.8	14 6.6	14 6.6	14 6.6	17 8.1	23 10.9	22 10.4	25 11.8	26 12.3	24 11.4	19 9.0		
峡西	258	人数 %		1 0.4	2 0.8	3 1.2	5 1.9	8 3.1	10 3.9	38 14.7	37 14.3	35 13.6	45 17.4	35 13.6	39 15.1		
東山梨	207	人数 %			3 1.4	8 3.9	13 6.3	11 5.3	12 5.8	15 7.2	22 10.6	30 14.5	35 16.9	29 14.0	27 13.0	2 1.0	
東八代	150	人数 %			3 2.0	1 0.7	7 4.7	8 5.3	6 4.0	24 16.0	21 14.0	22 14.7	16 10.7	22 14.7	29 13.3		
峡南	172	人数 %					1 0.6	3 1.7	10 5.8	26 15.1	18 10.5	35 20.3	29 16.9	30 17.4	20 11.6		
峡北	237	人数 %		2 0.8	3 1.3	5 2.1	4 1.7	12 5.1	17 7.2	25 10.5	31 13.1	39 16.5	34 14.3	35 14.8	30 12.7		
富士北麓	311	人数 %		1 0.3	2 0.6	7 2.3	7 2.3	13 4.2	23 7.4	47 15.1	43 13.8	42 13.5	56 18.0	50 16.1	20 6.4		
東部	171	人数 %			5 2.9	8 4.7	13 7.6	9 5.3	14 8.2	16 9.4	16 9.4	27 15.8	19 11.1	23 13.5	20 11.7		1 0.6
総計	1717	人数 %	1 0.06	8 0.5	26 1.5	46 2.7	64 3.7	78 4.5	109 6.3	214 12.5	210 12.2	255 14.9	260 15.1	248 14.4	195 11.4	2 0.1	1 0.06

3歳までの未満児が223人(13%)に対して、3歳児323人(18.8%)、4歳児465人(27.1%)、5歳児508人(29.6%)となっており、ともにそれぞれ約3割を占めている。6歳児は197人(11.5%)となっている。

(3) 調査対象の乳幼児の兄弟中での順位(表3参照)

第1子は、全体で735人(42.8%)で1位を占め、少子化の進んだ現象が現れた結果であろう。地域別では、東八代地域、甲府地域が高い値を示し、東山梨地域が低い値を示した。第2子が666人(38.4%)、第3子が272人(15.9%)と続き、最高は第6子が1人となっている。

3 調査対象の家族形態、家族構成について

(1) 調査対象の乳幼児の住む家庭の家族形態

全体では核家族が944人(55.0%)、世代家族が770人(44.8%)と、5%程度核家族が多く、核化が進んでいる結果を示した。核家族の多い地域は、甲府地域が74.9%と最も高く、東八代地域64.7%、峡北地域61.6%と続き、6割以上を占めている。また、世代家族の多い地域は、

峡南地域が74.4%と最も高く、次いで東山梨地域54.1%と2地域だけが半数以上を占めている。

(2) 調査対象の乳幼児の住む家庭の家族構成(表4参照)

i) 父母との同居では、父と同居している乳幼児は、全体で94.0%、母とでは98.2%となっている。

ii) 祖父母との同居では、祖父では全体で31.6%となっており、特に甲府地域17.1%、東八代地域21.3%と低い値に止まっている。祖母では全体で41.5%が同居している結果となっており、なかでも、峡南地域が71.5%の高い値を示した。祖父母を比較すると、全体的にみて、両者とも半数以下に止まったことは、今日的な核家族化の進んだ現象の現れと考えられる。また、祖母が祖父に比較して10%程度多いことは、寿命との関連性があるものと推測される。

iii) 兄との同居では、全体で33.1%となっており、約7割が兄がいない結果となってる。兄と同居している568人の乳幼児の兄の数

表3 調査対象の乳幼児の兄弟の順位

地域名	の対 数象 児	順 項 位 目	第 1 子	第 2 子	第 3 子	第 4 子	第 5 子	第 6 子	無 記 入
甲 府	211	人数 %	102 48.3	71 33.6	31 14.7	7 3.3			
峡 西	258	人数 %	109 42.2	97 37.6	46 17.8	6 2.3			
東 山 梨	207	人数 %	71 34.3	92 44.4	37 17.9	6 2.9	1 0.5		
東 八 代	150	人数 %	76 50.7	51 34.0	20 13.3	2 1.3	1 0.7		
峡 南	172	人数 %	69 40.1	73 42.4	25 14.5	5 2.9			
峡 北	237	人数 %	102 43.0	94 39.7	35 14.8	6 2.5			
富士北麓	311	人数 %	137 44.1	117 37.6	52 16.7	4 1.3		1 0.3	
東 部	171	人数 %	69 40.4	71 41.5	26 15.2	5 2.9			
総 計	1717	人数 %	735 42.8	666 38.8	272 15.9	41 2.4	2 0.1	1 0.05	

表4 調査対象の乳幼児の住む家庭の家族構成

地域名	項目	父	母	祖父	祖母	兄		姉		弟		妹		その他		無記入
						人数	総兄数の	人数	総姉数の	人数	総弟数の	人数	人妹数の	人数	総数	
甲府	人数 %	179 84.8	208 98.6	36 17.1	49 23.2	55 26.1	73 1.3人	63 29.9	77 1.2人	34 16.1	37 1.1人	27 12.8	29 1.1人	5 2.4	11 2.2人	
峡西	人数 %	247 95.7	255 98.8	74 28.7	96 37.2	94 36.4	119 1.3人	71 27.5	87 1.2人	69 26.7	70 1.0人	54 20.9	56 1.0人	14 5.4	15 1.1人	1 0.4
東山梨	人数 %	198 95.7	206 99.5	74 35.7	93 44.9	79 38.2	100 1.3人	72 34.8	84 1.2人	35 16.9	37 1.1人	35 16.9	38 1.1人	7 3.4	8 1.1人	1 0.5
東八代	人数 %	136 90.7	145 96.7	32 21.3	51 34.0	43 28.7	48 1.1人	42 28.0	50 1.2人	34 22.7	36 1.1人	36 24.0	38 1.1人	15 10.0	17 1.1人	6 4.0
峡南	人数 %	164 95.3	169 98.3	91 52.9	123 51.8	58 33.7	68 1.2人	49 28.5	63 1.3人	51 29.7	56 1.1人	41 23.8	43 1.0人	12 7.0	17 1.4人	1 0.6
峡北	人数 %	233 98.3	232 97.9	62 26.2	88 37.1	82 34.6	97 1.2人	75 31.6	87 1.2人	61 25.7	65 1.1人	49 20.7	49 1.0人	12 5.1	13 1.1人	1 0.4
富士北麓	人数 %	293 94.2	304 97.7	117 37.6	142 45.7	101 32.5	122 1.2人	87 28.0	109 1.3人	69 22.2	72 1.0人	66 21.2	70 1.1人	19 6.1	19 1.0人	
東部	人数 %	164 95.9	167 97.7	57 33.3	71 41.5	56 32.7	63 1.1人	63 36.8	68 1.1人	25 14.6	26 1.0人	34 19.9	37 1.1人	7 4.1	9 1.3人	3 1.8
総計	人数 %	1614 94.0	1686 98.2	543 31.6	713 41.5	568 33.1	690 1.2人	522 30.4	625 1.2人	378 22.0	399 1.1人	342 19.9	360 1.1人	91 5.3	109 1.2人	13 0.8

は、1人が455人(80.1%)と大半を占めており、平均で1.1人となっている。また、最高は4人が1人となっており、少子化が進んだ結果であろう。地域的には、東山梨地域38.2%、峡西地域36.4%が高く、甲府地域26.1%、東八代地域28.7%が低い値となっている。

iv) 姉との同居では、全体で30.4%と兄より低い値となっている。姉と同居している552人の乳幼児の姉の数は、1人が432人(82.8%)と、兄と同じように大半を占め、平均では、1.2人となっている。姉の多い地域は、東部地域36.8%、東山梨地域34.8%となっている。

v) 弟との同居では、全体で22.0%と低い値となっており、弟の数でも1人が94.7%と大半を占めている。弟との同居の多い地域は、峡南地域が29.7%、峡西地域26.7%、峡北地域25.7%と続いている。また、弟の少ない地域は、東部地域14.6%、甲府地域16.1%、東山梨地域16.9%となっている。

vi) 妹との同居では、全体の19.9%と弟よりさらに低い値となっている。妹の数でも1人が94.7%と大半を占めた。妹の多い地域は、甲府地域12.8%、東山梨地域16.9%となっている。

vii) その他の同居(叔父、叔母など)している人では、全体で5.3%となっている。全般的な家族構成では、今日的な核家族化、少子家族化が市街部から周辺部の地域にまで浸透している結果となっている。

4 乳幼児のアレルギー性疾患の罹患状況について(表5参照)

大きな社会問題としてクローズアップされてきた、様々なアレルギー性疾患は増加する一方であるとされている。これらの疾患がなぜこのように蔓延したかの原因については、今ではっきりしていない。しかし、住宅環境の変化、食生活の変化、自然環境の破壊や大気汚染、現代社会における心身両面に加わるストレスの増大や、人間関係の希薄などが複合的に絡み合って、自然・社会

表5 乳幼児の現在までのアレルギー性疾患に対する罹患状況

地域名	項目	疾病名 今までの ことが あった	アトピー性 皮膚炎	気管支 喘息	鼻炎 アレルギー 花粉症	ダニ アレルギー	食物 アレルギー	じん ましん	湿 疹	その 他の アレルギー	無 記 入	アレルギー性疾患の 重複の状況						
												1 個	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個	7 個
甲府	罹患児数	91	43	26	13	2	4	17	30	5	18	51	29	11				
	対全体 %	43.1	20.4	12.3	6.2	0.9	1.9	8.1	14.2	2.4	8.5							
	対罹患児%		47.3	28.6	14.3	2.2	4.4	18.7	33.3	5.5		56.0	31.9	12.1				
峡西	罹患児数	145	74	30	29	3	9	28	42	9	24	92	33	15	5			
	対全体 %	56.2	28.7	11.6	11.2	1.2	3.5	10.9	16.3	3.5	9.3							
	対罹患児%		51.0	20.7	20.0	2.1	6.2	19.3	29.0	6.2		63.4	22.8	10.3	3.4			
東山梨	罹患児数	125	73	28	21	5	7	25	26	1	13	87	22	10	4	2		
	対全体 %	60.4	35.3	13.5	10.1	2.4	3.4	12.1	12.6	0.5	6.3							
	対罹患児%		58.4	22.4	18.8	4.0	5.6	20.0	20.8	0.8		69.6	17.6	8.0	3.2	1.6		
東八代	罹患児数	89	52	14	13	1	6	11	19	9	11	64	18	4	2	1		
	対全体 %	59.3	34.7	9.3	8.7	0.7	4.0	7.3	12.7	6.0	7.3							
	対罹患児%		58.4	15.7	14.6	1.1	6.7	12.4	21.3	6.7		71.9	20.0	4.5	2.2	1.1		
峡南	罹患児数	92	64	20	19	2	6	17	14	7	15	52	28	10	1			1
	対全体 %	53.5	37.2	11.6	11.0	1.2	3.5	9.9	8.1	4.1	8.7							
	対罹患児%		69.6	21.7	20.7	2.2	6.5	18.5	15.2	7.6		56.5	30.4	10.9	1.1			1.1
峡北	罹患児数	130	74	27	15	2	6	20	29	8	18	90	27	12	1			
	対全体 %	54.9	31.2	11.4	6.3	0.8	2.5	8.4	12.2	3.4	7.6							
	対罹患児%		56.9	20.8	11.5	1.5	4.6	15.4	22.3	6.2		69.2	20.8	9.2	0.8			
富士北麓	罹患児数	174	128	24	6	5	9	21	28	5	22	129	37	7	1			
	対全体 %	55.3	41.2	7.7	1.9	1.6	2.9	6.8	9.0	1.6	7.1							
	対罹患児%		73.6	13.8	3.4	2.9	5.2	12.1	16.1	2.9		74.1	21.3	4.0	0.6			
東部	罹患児数	93	39	18	9	3	5	15	29	4	11	69	19	5				
	対全体 %	54.4	22.8	10.5	5.3	1.8	2.9	8.8	17.0	2.3	6.4							
	対罹患児%		41.9	19.4	9.7	3.2	5.4	16.1	31.2	4.3		74.2	20.4	5.4				
総計	罹患児数	939	547	187	125	23	52	154	21	48	132	634	213	74	14	3		1
	対全体 %	54.7	31.9	10.9	7.3	1.3	3.0	9.0	1.2	2.8	7.7							
	対罹患児%		58.3	19.9	13.3	2.4	5.5	16.4	2.2	5.1		67.5	22.7	7.9	1.5	0.3		0.1

環境に適応できなくなっていることが要因と考えられる。

さらに、今日では、アレルギー性疾患児が増加したと同時に、以前には治療していた年齢に達しても治らない人が増加している。一例をあげれば、成人に達してもアトピー性皮膚炎で苦しんでいる人が増加していることでも明らかなことである。また、これらのアレルギー性疾患は、原因が一過性でなく、治療も難しく薬物療法、食事療法、環境整備、鍛錬療法（体力、適応力の増強）などが考えられ、実施されているが決定的な治療法は確立されていないようである。従って、アレルギー

性疾患の予防や治療には何よりも生活全般についてのトータルケアが不可欠の要素であろう。

そこで、山梨県の全域にわたってアレルギー性疾患の罹患状況を把握し、地域による差異や共通性などを明らかにし、トータルケアの一助とした。

(1) 山梨県全般についての、乳幼児のアレルギー性疾患の罹患状況

乳幼児の現在までのアレルギー性疾患に対する罹患状況については、全体の54.7%と半数以上の非常に高い率を占め、急増している結果となっている。

地域別で罹患率の高い地域は、東山梨地域60.0%と最も高く、東八代地域59.3%と約6割と高い値を示している。峡西地域56.2%と続き、低い地域は、甲府地域43.1%、峡南地域53.5%となっている。

このように、東山梨地域、東八代地域の罹患率が他の地域より高い値を示したことは、両地域とも、果樹地域であるため農薬の散布が多く、これがアレルゲンとなって作用したものと考えられよう。

疾患別では、アトピー性皮膚炎が罹患児の58.3%と高い値を示し、次いで気管支喘息19.9%、ジンマシン16.4%、アレルギー性鼻炎(花粉症)19.9%と続いている。また、アトピー性皮膚炎と湿疹を加えた皮膚炎が罹患児全体の6割と急増している結果となっている。

(2) 乳幼児のアトピー性皮膚炎の罹患状況

全体の乳幼児に対するアトピー性皮膚炎の罹患率が高い地域は、富士吉田市を中心とした、富士北麓地域の41.7%を最高に、南部町・身延町を中心とした峡南地域37.2%と、県南部が4割前後の高い値を示した。また、低い地域は、甲府市を中心とした甲府地域の20.4%、大月市・上野原町を中心とした東部地域22.8%と市街地域に低い値が認められた。

乳幼児のアレルギー性疾患児に対する割合では、前者の罹患率と同様に富士北麓地域が73.6%、峡南地域69.6%と7割を示して高い値を示している。反対に、東部地域では41.9%、甲府地域47.3%と5割以下と低い値となっている。

アトピー性皮膚炎は、主として生後2～3ヶ月頃から現れ、一般的には成長とともに快癒し、1/3は学齢期までに完治し、さらに1/3は思春期までに、残りの1/3は成人まで続くとされ、治療法も決定的なものがなく、難病とされている。

アトピー性皮膚炎の原因としては、食物アレルギーとダニアレルギーが今日まで有力とされてきたが、アレルゲンは特定されず、多岐にわたるものと考えられる。従って、富士北麓地域、峡南地域の罹患児が多い原因については、気象状況である、低気温や高湿度がアレルゲンの一つと考えられよう。

(3) 乳幼児の気管支喘息の罹患状況

全体の乳幼児に対する気管支喘息の罹患率の高い地域は、東山梨地域13.5%、甲府地域12.3%となっている。低い地域では、富士北麓地域7.7%、東八代地域9.3%となっている。

乳幼児のアレルギー性疾患児に対する割合では、甲府地域が28.6%、東山梨地域22.4%と高く、富士北麓地域13.5%、東八代地域15.7%と低く、アトピー性皮膚炎の結果と相反する結果となっている。

気管支喘息のアレルゲンはペットやダニ食物が考えられているが、感冒や気象状況の変化、不安や緊張なども重要なアレルゲンとなっている。前項の、アトピー性疾患と同様、気象状況の厳しさ、排ガスなどによる大気汚染などが大きく影響しているものと推測される。

(4) 乳幼児のアレルギー性鼻炎(花粉症)の罹患状況

全体の乳幼児に対するアレルギー性鼻炎の罹患率の高い地域は、峡西地域が11.2%、峡南地域11.0%と県南西部の山麓地域に高く、富士北麓地域3.4%、東部地域9.7%が低い値を示した。乳幼児のアレルギー疾患児に対する割合では、峡南地域20.2%、峡西地域20.0%と高く、富士北麓地域3.4%、東部地域9.7%と低い値となっている。アレルギー性鼻炎には、花粉がアレルゲンとして作用するものと、ダニやホコリなどのハウスダストやカビなどがアレルゲンとなる、通年性のものが考えられている。一般的に季節性鼻炎(花粉症)は大人に多く、通年性の鼻炎は子供に多く現れ、10歳頃がピークとされている。

(5) 乳幼児のダニアレルギーの罹患状況

全体の乳幼児に対するダニアレルギーの罹患率は2.4%と割合に低い値を示した。乳幼児のアレルギー疾患児に対する割合が、やや高い値を示したのは、東山梨地域4.0%、東部地域3.3%であった。その他の地域は、概ね2%以下となっている。

(6) 乳幼児の食物アレルギーの罹患状況

全体の乳幼児に対する食物アレルギーの罹患率の高い地域は、東八代地域4.0%、峡西地域、峡南地域がともに3.5%、東山梨地域が3.4%とやや高い値を示した。低い値を示したのは、甲

府地域1.9%であった。

食物アレルギーには3大アレルゲンが考えられている。日本では卵、牛乳、大豆がそれで、乳幼児にとっては影響が大きいとされている。飽食、美食の時代、調理方法を工夫したり、除去したり、団欒の中で食べるように心掛けることが必要なことであろう。

(7) 乳幼児のジンマシンの罹患状況

全体の乳幼児に対するジンマシンの罹患率の高い地域は、東山梨地域の12.1%とやや高く、他の地域は大体10%以下と差異は認められなかった。

(8) 乳幼児の湿疹の罹患状況

全体の乳幼児に対する湿疹の罹患率の高い地域は、東部地域が17.0%、峡西地域16.3%と高く、峡南地域8.1%、富士北麓地域9.0%と低い値となっており、アトピー性皮膚炎の多い地域が低い値となっている。

(9) 乳幼児のその他のアレルギーの罹患状況

その他のアレルギーの罹患率のやや高い地域は東八代地域6.0%とやや高く、他の地域は3%程度の値を示した。

(10) 乳幼児のアレルギー性疾患の重複罹患の状況 (表5参照)

アレルギー疾患を1種類だけ罹患している乳幼児は全罹患児の67.5%であるのに対して、重複して2種類以上罹患している乳幼児は、全罹患児の32.5%と高い値となっている。3種類の罹患児は、22.7%、4種類が1.5%もあり、最高は7種類も重複して罹患している結果となっている。

アレルギー性疾患を2種類以上重複して罹患している乳幼児の多い地域は、峡南地域が罹患児の43.5%、甲府地域44.0%と高く、少ない地域は、東部地域25.8%、富士北麓地域25.9%となっている。

乳幼児のアレルギー性疾患の重複状態を考察すると、全罹患児の3割が2種類以上の疾患に罹患して苦しんでおり、これらの乳幼児の治療や、複雑なアレルゲンの除去などに取り組むことが急務の課題であろう。

5 同居している家族のアレルギー性疾患の罹患状況

(1) 父のアレルギー性疾患の罹患状況(表6参照)

今まで罹患したことのある父は、全父の28.6%とかなり低い値となっている。罹患者の多い地域は、甲府地域の32.4%、峡西地域31.2%、東部地域30.5%といずれも全父の3割を越えている。罹患者の少ない地域は、峡北地域の24.5%、富士北麓地域26.3%となっている。疾患別では、アレルギー性鼻炎(花粉症)が圧倒的に多く全罹患者の67.7%と大半を占めており、地域別では、東部地域が全罹患者の82.0%、峡南地域77.1%と高くなっている。

次いで、ジンマシン13.4%、湿疹9.5%と続いている。

(2) 母のアレルギー性疾患の罹患状況(表7参照)

今まで罹患したことのある母は、全母の44.1%と多く、父より15%以上も多くなっている。地域別では、峡西地域が49.8%、甲府地域が49.0%と約半数を占めている。少ない地域では、富士北麓地域が29.9%と低い値となっている。疾患別では父と同様にアレルギー性鼻炎が79.2%と大半を占めており、地域別では峡南地域が85.5%、峡北地域84.7%、峡西地域83.5%と多くなっている。次いで、父と同様にジンマシン、湿疹の順となっている。

(3) 祖父のアレルギー性疾患の罹患状況(表8参照)

今まで罹患したことのある祖父は、全祖父の14.4%と低い値を示した。地域別では、富士北麓地域が30.6%、甲府地域27.6%と高く、東部地域5.1%、峡南地域6.6%と低い値となっている。疾患別では、アレルギー性鼻炎が40.3%と高く、地域別では東八代地域71.4%、東部地域50.0%と多くなっており、次いで気管支喘息、32.5%と続いている。

(4) 祖母のアレルギー性疾患の罹患状況(表9参照)

今まで罹患したことのある祖母は、全祖母の12.3%と祖父よりも低い値となっている。地域別では富士北麓地域が26.1%と高く、峡北地域が2.8%と低い値となっている。疾病別では、アレルギー性鼻炎が41.9%となっており、甲府地域と東八代地域がともに75.0%と高い値を示し、峡西地域14.3%、東部地域31.3%と低い値となっている。次いで、気管支喘息が23.7%、

表6 父の現在までのアレルギー性疾患に対する罹患状況

地域名	調査対象 父の数	疾病名 項目	今までの ことが ある父	アトピー 性 皮膚炎	気管支 喘息	鼻炎 アレルギー 性 花粉症	食物 アレルギー	じん ましん	湿 疹	ダニ アレルギー	その他の アレルギー	アレルギー性疾患の 重複の状況					
												1 個	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個
甲府	179	罹患父数 対全父 % 対罹患父%	58 32.4 6.9	4 2.2 6.9	10 5.6 17.2	37 20.7 63.8	2 1.1 3.4	11 6.1 19.0	8 4.5 13.8		4 2.2 6.9	44 75.9	11 20.0	2 3.4	1 1.7		
峡西	247	罹患父数 対全父 % 対罹患父%	77 31.2 9.1	7 2.8 9.1	5 2.0 6.5	49 19.8 63.6	3 1.2 3.9	13 5.3 16.9	10 4.0 13.0		2 0.8 2.6	66 85.7	10 13.0	1 1.3			
東山梨	198	罹患父数 対全父 % 対罹患父%	54 27.3 5.6	3 1.5 5.6	7 3.5 13.0	38 19.2 70.4	3 1.5 5.6	8 4.0 14.8	5 2.5 9.3		1 0.5 1.9	45 83.3	7 13.0	2 3.7			
東八代	136	罹患父数 対全父 % 対罹患父%	40 29.4 10.0	4 2.9 10.0	3 2.2 7.5	28 20.6 70.0	1 0.7 2.5	4 2.9 10.0	3 2.2 7.5		1 0.7 2.5	36 90.0	4 10.0				
峡南	164	罹患父数 対全父 % 対罹患父%	48 29.3 12.5	6 3.7 12.5	1 0.6 2.1	37 22.6 77.1	3 1.8 6.3	4 2.4 8.3	2 1.2 4.2	1 0.6 2.1	1 0.6 2.1	41 85.4	7 14.6				
峡北	233	罹患父数 対全父 % 対罹患父%	57 24.5 8.8	5 2.1 8.8	3 1.3 5.3	34 14.6 59.6	1 0.4 1.8	7 3.0 12.3	9 3.9 15.9	2 0.9 3.5	10 4.3 17.5	45 78.9	11 19.3		1 1.8		
富士北麓	293	罹患父数 対全父 % 対罹患父%	77 26.3 10.4	8 2.7 10.4	6 2.0 7.8	48 16.4 62.3	4 1.4 5.2	9 3.1 11.7	6 2.0 7.8		3 1.0 3.9	70 90.9	7 9.1				
東部	164	罹患父数 対全父 % 対罹患父%	50 30.5 2.0	1 0.6 2.0	5 3.0 10.0	41 25.0 82.0	1 0.6 2.0	6 3.7 12.0	1 0.6 2.0		1 0.6 2.0	44 88.0	6 12.0				
総計	1614	罹患父数 対全父 % 対罹患父%	461 28.6 8.2	38 2.4 8.2	40 2.5 8.7	312 19.3 67.7	18 1.1 3.9	62 3.8 13.4	44 2.7 9.5	3 0.2 0.7	23 1.4 5.0	391 84.8	63 13.7	5 1.1	2 0.4		

じんましん、19.4%と続いている。

(5) 兄のアレルギー性疾患の罹患状況(表10参照)

乳幼児の兄のアレルギー性疾患の罹患状況は、全兄の41.7%とかなり高い値を示したが、乳幼児より13.0%低い結果となっている。地域別では、峡北地域が全兄の63.5%、東八代地域56.3%と高い値を示し、東部地域が13.9%と低い値を示した。疾患別では、1位がアトピー性皮膚炎が全罹患者の54.9%と高く、中でも、富士北麓地域が71.4%、東八代地域70.4%とともに7割以上となっている。2位は、アレルギー性鼻炎が全罹患者の44.8%と高く、地域別では、

峡南地域が67.6%、甲府地域65.5%と高い値を示している。3位は、気管支喘息が18.8%となっており、峡南地域67.6%、甲府地域65.5%と高い値を示した。

(6) 姉のアレルギー性疾患の罹患状況(表11参照)

乳幼児の姉のアレルギー性疾患の罹患状況は、全姉の37.1%と兄より低い値を示した。地域別で罹患率の高いのは、峡北地域が55.6%、峡南地域52.0%と半数以上となっている。罹患率の低い地域は、甲府地域が23.9%、東部地域24.1%、東八代地域27.4%となっている。疾患別では、1位がアトピー性皮膚炎で56.0%と

表7 母の現在までのアレルギー性疾患に対する罹患状況

地域名	調査対象母の数	項目	疾病名 こと 今 まで 罹 つ た 母	アトピー性 皮膚炎	気管支 喘息	鼻炎 アレルギー 花粉症	食物 アレルギー	ジ ン マ シ ン	湿 疹	ダ ニ ア レ ル ギ ー	そ の 他 の ア レ ル ギ ー	アレルギー性疾患の 重複の状況					
												1 個	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個
甲府	208	罹患母数	102	5	7	77	3	18	14		7	81	15	4	2		
		対全母 %	49.0	2.4	3.4	37.0	1.4	8.7	6.7		3.4						
		対罹患母%		4.9	6.9	75.5	2.9	17.6	13.7		6.9	79.4	14.7	3.9	2.0		
峡西	255	罹患母数	127	7	10	106	1	14	11	3	10	99	22	5	1		
		対全母 %	49.8	2.7	3.9	41.6	0.4	5.5	4.3	1.2	3.9						
		対罹患母%		5.5	7.9	83.5	0.8	11.0	8.7	2.4	7.9	78.0	17.3	3.9	0.8		
東山梨	206	罹患母数	89	8	8	67	4	15	2	1	9	70	13	6			
		対全母 %	43.2	3.9	3.9	32.5	1.9	7.3	1.0	0.5	4.4						
		対罹患母%		9.0	9.0	68.4	4.5	16.9	2.2	1.1	10.1	78.7	14.6	6.7			
東八代	145	罹患母数	59	9	5	44	9	12	6	2	5	38	15	4			2
		対全母 %	40.7	6.2	3.4	30.3	6.2	8.3	4.1	1.4	3.4						
		対罹患母%		15.3	8.5	74.6	15.3	20.3	10.2	3.4	8.5	64.4	25.4	6.8			3.4
峡南	169	罹患母数	69	2	4	59	3	6	7		2	58	9	1	1		
		対全母 %	40.8	1.2	2.4	34.9	1.8	3.6	4.1		1.2						
		対罹患母%		2.9	5.8	85.5	4.3	8.7	10.1		2.9	84.1	13.0	1.4	1.4		
峡北	231	罹患母数	85	5	7	72	3	17	3		1	68	11	6			
		対全母 %	36.7	2.2	3.0	31.2	1.3	7.4	1.3		0.4						
		対罹患母%		5.9	8.2	84.7	3.5	20.0	3.5		1.2	80.0	12.9	7.1			
富士北麓	304	罹患母数	91	5	5	72	5	14	7	2	7	72	14	4		1	
		対全母 %	29.9	1.6	1.6	23.7	1.6	4.6	2.3	0.7	2.3						
		対罹患母%		5.5	5.5	79.1	5.5	15.4	7.7	2.2	7.7	79.1	15.4	4.4		1.1	
東部	167	罹患母数	76	7	5	56	1	13	11	4	3	58	13	4	1		
		対全母 %	45.5	4.2	3.0	33.5	0.6	7.8	6.6	2.4	1.8						
		対罹患母%		9.2	6.6	73.7	1.3	17.1	14.5	5.3	3.9	76.3	17.1	5.3	1.3		
総計	1685	罹患母数	698	48	51	553	29	109	61	12	44	544	112	34	5	1	2
		対全母 %	44.1	2.8	3.0	32.8	1.7	6.5	3.6	0.7	2.6						
		対罹患母%		6.9	7.3	79.2	4.2	15.6	8.7	1.7	6.3	77.9	16.0	4.9	0.7	0.1	0.3

なっており、地域別では富士北麓地域が69.7%、東八代地域65.2%、東山梨地域64.7%と高い値を示した。2位はアレルギー性鼻炎で29.7%となっており、峡南地域が46.2%、東八代地域39.1%、甲府地域38.5%、峡西地域38.2%と高い値となっている。3位はじんましんで18.5%、4位、気管支喘息が10.8%と続いている。

(7) 弟のアレルギー性疾患の罹患状況(表12参照)

乳幼児の弟のアレルギー性疾患の罹患状況は、全弟の25.3%と低い値を示し、地域別で罹患率の高いのは、富士北麓地域で69.2%、峡南地域47.2%、峡西地域45.7%となっており、低

い地域は、東山梨地域が7.1%、甲府地域11.1%となっている。疾患別では、1位がアトピー性皮膚炎で64.4%と高く、地域別では、東八代地域が80.0%、富士北麓地域72.2%、峡西地域70.6%となっており、低い地域では、東部地域が41.7%となっている。2位は、気管支喘息で18.8%となっており、峡北地域が35.7%と高くなっている。3位は湿疹17.8%で東部地域が41.7%と高くなっている。

(8) 妹のアレルギー性疾患の罹患状況(表13参照)

乳幼児の妹のアレルギー性疾患の罹患状況は、全妹の18.3%と弟より低い値となっている。

表8 祖父の現在までのアレルギー性疾患に対する罹患状況

地域名	調査対象祖父の数	項目	疾病名	が罹患した祖父と	アトピー性皮膚炎	気管支喘息	鼻炎花粉症性	アレルギー食物	ジンマシン	湿疹	ダニアレルギー	その他のアレルギー	アレルギー性疾患の重複の状況				
													1個	2個	3個	4個	5個
甲府	36	罹患祖父数		10		4	3			3			10				
		対全祖父 %		27.8		11.1	8.3			8.3							
		対罹患祖父 %				40.0	30.0			30.0			100				
峡西	74	罹患祖父数		10	1	3	5			2		1	8	2			
		対全祖父 %		13.5	1.4	4.1	6.8			2.7		1.4					
		対罹患祖父 %			11.1	22.2	44.4			22.2		11.1	80.0	20.0			
東山梨	74	罹患祖父数		8	1	4	2	1				1	7	1			
		対全祖父 %		10.8	1.4	5.4	2.7	1.4				1.4					
		対罹患祖父 %			12.5	50.0	25.0	12.5				12.5	87.5	12.5			
東八代	32	罹患祖父数		7		2	5		1				6	1			
		対全祖父 %		21.9		6.3	15.6		3.1								
		対罹患祖父 %				28.6	71.4		14.3				85.7	14.3			
峡南	91	罹患祖父数		6		2	3		1				6				
		対全祖父 %		6.6		2.2	3.3		1.1								
		対罹患祖父 %				33.3	50.0		16.7				100				
峡北	57	罹患祖父数		12		4	3		1	3		1	12				
		対全祖父 %		21.1		7.0	5.3		1.8	5.3		1.8					
		対罹患祖父 %				33.3	25.0		8.3	25.0		8.3	100				
富士北麓	62	罹患祖父数		19		6	8	3	2	2		1	17	1	1		
		対全祖父 %		30.6		9.1	12.9	4.8	3.2	3.2		1.6	89.5	5.3	5.3		
		対罹患祖父 %				31.6	42.1	15.8	10.5	10.5		5.3					
東部	117	罹患祖父数		6		1	3		1	1			6				
		対全祖父 %		5.1		0.9	2.6		0.9	0.9							
		対罹患祖父 %				16.7	50.0		16.7	16.7			100				
総計	543	罹患祖父数		78	2	26	32	4	6	11		4	72	5	1		
		対全祖父 %		14.4	0.4	4.8	5.9	0.7	11.0	2.0		0.7					
		対罹患祖父 %			2.6	32.5	40.3	5.2	7.8	14.3		5.2	92.3	6.4	1.3		

地域別で罹患率の高い地域は、峡西地域が51.7%、富士北麓地域40.5%と高く、甲府地域5.7%、東八代地域7.9%と低い値となっている。疾患別では、1位がアトピー性皮膚炎で59.1%と高く、地域別では、東八代地域が100%、東山梨地域66.7%と高く、東部地域が40.0%とやや低い値を示した。2位は、気管支喘息と湿疹がともに18.2%、3位、アレルギー性鼻炎13.6%となっている。

- (9) 叔父、叔母などの同居している家族のアレルギー性疾患の罹患状況 (表14参照)

叔父、叔母などのその他の同居している家族

のアレルギー性疾患の罹患状況は、全体で22%となっており、地域別では、富士北麓地域が100%と高い値を示した。疾患別では、アレルギー性鼻炎が54.2%、アトピー性鼻炎33.3%、ジンマシンと湿疹がそれぞれ25.5%と続いている。

- (10) 家族全員のアレルギー疾患の罹患について (表15参照)

調査対象全家庭の全員、8,456人の中、アレルギー性疾患に罹患した人は、2,978人 (35.2%)となっている。罹患別では、1位がアレルギー性鼻炎で1,288人 (43.3%)と急激な増加を示し

表9 祖母の現在までのアレルギー性疾患に対する罹患状況

地域名	調査対象 祖母の数	項目	疾病名 が罹った 祖母の 父と	アトピー性 皮膚炎	気管支 喘息	鼻炎 アレルギー 花粉症	食物 アレルギー	じん ましん	湿 疹	ダニ アレルギー	その他の アレルギー	アレルギー性疾患の 重複の状況				
												1 個	2 個	3 個	4 個	5 個
甲府	49	罹患祖母数	4			3		1				4				
		対全祖母 %	8.2			6.1		2.0								
		対罹患祖母%				75.0		25.0				100				
峡西	96	罹患祖母数	14		6	2		2	2		2	14				
		対全祖母 %	14.6		6.3	2.1		2.1	2.1		2.1					
		対罹患祖母%			42.9	14.3		14.3	14.3		14.3	100				
東山梨	93	罹患祖母数	13	2	2	5	1	4	1		1	11	1	1		
		対全祖母 %	14.0	2.2	2.2	5.4	1.1	4.3	1.1		1.1					
		対罹患祖母%		15.4	15.4	38.5	7.7	30.8	7.7		7.7	84.6	7.7	7.7		
東八代	51	罹患祖母数	8		1	6		1				8				
		対全祖母 %	15.7		2.0	11.8		2.0								
		対罹患祖母%			12.5	75.0		12.5				100				
峡南	164	罹患祖母数	14		2	6	1	2	3	1	1	12	2			
		対全祖母 %	8.5		1.2	3.7	0.9	1.2	1.8	0.9	0.9					
		対罹患祖母%			14.3	42.9	7.1	14.3	21.4	7.1	7.1	85.7	14.3			
峡北	71	罹患祖母数	2		1	1						2				
		対全祖母 %	2.8		1.4	1.4										
		対罹患祖母%			50.0	50.0						100				
富士北麓	88	罹患祖母数	23	1	5	11	2	5	2		2	19	3	1		
		対全祖母 %	26.1	1.1	5.7	12.5	2.3	5.7	2.3		2.3					
		対罹患祖母%		4.3	21.7	47.8	8.7	21.7	8.7		8.7	82.6	13.0	4.3		
東部	142	罹患祖母数	16		5	5	1	3	2		4	13	2	1		
		対全祖母 %	11.3		3.5	3.5	0.7	2.1	1.4		2.8					
		対罹患祖母%			31.3	31.3	6.3	18.8	12.5		25.0	81.3	12.5	6.3		
総計	754	罹患祖母数	93	3	22	39	5	18	9	1	10	82	8	3		
		対全祖母 %	12.3	0.4	2.9	5.2	0.7	2.4	1.2	0.1	1.3					
		対罹患祖母%		3.2	23.7	41.9	5.4	19.4	9.7	1.1	10.8	88.2	8.6	3.2		

ており、中でも大人の父母、祖父母、兄に多くなっている。2位は、アトピー性鼻炎で、1,038人(34.9%)となっており、乳幼児、兄姉、姉妹と若年者が6割を占めている。3位は、じんましんで、443人(14.9%)となっており、祖母、姉、乳幼児、母にやや多くなっている。4位は気管支喘息で439人(14.9%)となっており、祖父母に多くなっている。

全家族のアレルギー性疾患のうち、最も罹患率が高く乳幼児に多いアトピー性皮膚炎と大人に多いアレルギー性鼻炎の罹患率などを地域的に検討した。

i) 家族全員のアトピー性皮膚炎の罹患状況 (表16参照)

乳幼児期に増加している、アトピー性皮膚炎の罹患状況を家族全員についてみると、弟が全罹患児の65人(64.4%)、妹の39人(59.1%)、調査対象の乳幼児が547人(58.3%)、姉が130人(56.0%)兄、158人(54.9%)と6割が若年層に集中し、父母、祖父母の成人では1割未満で低い値を示している。地域的にみると、富士北麓地域が222人(44.3%)、東八代地域110人(41.0%)、峡南地域126人、(39.6%)でともに高い値

表10 兄の現在までのアレルギー性疾患に対する罹患状況

地域名	調査対象兄の数	項目	疾病名 今までの罹った兄	アトピー性皮膚炎	気管支喘息	鼻炎アレルギー花粉症性	食物アレルギー	じんましん	湿疹	ダニアレルギー	その他のアレルギー	アレルギー性疾患の重複の状況					
												1個	2個	3個	4個	5個	6個
甲府	73	罹患兄数	29	10	5	19	1		1		1	21	8				
		対全兄 %	39.7	13.7	6.8	25.0	1.4		1.4		1.4						
		対罹患兄 %		34.5	17.2	65.5	3.4		3.4		3.4	72.4	27.6				
峡西	119	罹患兄数	53	20	13	28	1	7	4	2	3	32	18	2	1		
		対全兄 %	44.5	16.8	10.9	23.5	8.8	5.9	3.4	1.7	2.5						
		対罹患兄 %		37.7	24.5	52.8	1.9	13.2	7.5	3.8	5.7	60.4	34.0	3.8	1.9		
東山梨	100	罹患兄数	46	25	10	19	3	5	5	6	1	29	9	6	1	1	
		対全兄 %	46.0	25.0	10.0	19.0	3.0	5.0	5.0	6.0	1.0						
		対罹患兄 %		54.3	21.7	41.3	6.5	10.9	10.9	13.0	2.2	63.0	19.6	13.0	2.2	2.2	
東八代	48	罹患兄数	27	19	5	11	1	3		1	1	16	10			1	
		対全兄 %	56.3	39.6	10.4	22.9	2.1	6.3		2.1	2.1						
		対罹患兄 %		70.4	18.5	40.7	3.7	11.1		3.7	3.7	59.3	37.0			3.7	
峡南	68	罹患兄数	34	19	7	23	2	3	1	4		18	10	3	3		
		対全兄 %	50.0	27.9	10.3	33.8	2.9	4.4	1.5	5.9							
		対罹患兄 %		55.9	20.6	67.6	5.9	8.8	2.9	11.8		52.9	29.5	8.8	8.8		
峡北	63	罹患兄数	40	25	7	11		1	1	1	4	32	6	2			
		対全兄 %	63.5	39.7	11.1	17.5		1.6	1.6	1.6	6.3						
		対罹患兄 %		62.5	17.5	27.5		2.5	2.5	2.5	10.0	80.0	15.0	5.0			
富士北麓	97	罹患兄数	42	30	4	13	2	10	1	1	4	25	14	1	1	1	
		対全兄 %	43.3	30.9	4.1	13.4	2.1	10.3	1.0	1.0	4.1						
		対罹患兄 %		71.4	9.5	31.0	4.8	23.8	2.4	2.4	9.5	59.5	33.3	2.4	2.4	2.4	
東部	122	罹患兄数	17	10	3	5	1	1	3	2		11	4	2			
		対全兄 %	13.9	8.2	2.5	4.1	0.8	0.8	2.5	1.6							
		対罹患兄 %		58.8	17.6	29.4	5.9	5.9	17.6	11.8		64.7	23.5	11.8			
総計	690	罹患兄数	228	158	54	129	11	30	16	17	14	184	79	16	6	3	
		対全兄 %	41.7	22.9	7.8	18.7	1.6	4.3	2.3	2.5	2.0						
		対罹患兄 %		54.9	18.8	44.8	3.8	10.4	5.6	5.9	4.9	63.9	27.4	5.6	2.1	1.0	

を示し、東部地域72人(24.0%)、甲府地域84人(25.0%)、峡西地域142人(28.7%)と低い値を示している。

ii) 家族全員のアレルギー性鼻炎の罹患状況 (表17参照)

近年急激に増加している、アレルギー性鼻炎(花粉症)の罹患状況を家族全員についてみると、母が553人(79.2%)、父が312人(67.7%)、叔父、叔母などのその他の家族13人(54.2%)、兄129人、(44.8%)、祖母39人(41.9%)、祖父32人(40.3%)と年齢が進むに従って多くなっている。地域別

では、甲府地域が166人(49.4%)、峡西地域239人(48.6%)と高い値を示している。

6 乳幼児のアレルギー性疾患に対する診察や治療の有無について (表18参照)

乳幼児が現在までにアレルギー性疾患について、診察や治療を受けたことの有無については、診察を受けたことがないが全体で743人(43.3%)と受けたことがある669人(39.0%)を上回る結果となっている。また、現在も診察や治療を受けている乳幼児も207人で、全乳幼児の12.1%と罹患者の割合からみて、かなり低い値となっている。地

表11 姉の現在までのアレルギー性疾患に対する罹患状況

地域名	調査対象姉の数	項目	疾病名 こま 今 まで が 罹 つ 姉 た	アトピー性 皮膚炎	気管支 喘息	鼻炎 アレルギー 花粉症	食物 アレルギー	じん まし ん	湿 疹	ダ ニ ア レ ル ギ ー	そ の 他 の ア レ ル ギ ー	アレルギー性疾患の 重複の状況					
												1 個	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個
甲府	109	罹患姉数	26	14	1	10		5	4			20	5		1		
		対全姉 %	23.9	12.8	0.9	9.2		4.6	3.7								
		対罹患姉%		53.8	3.8	38.5		19.2	15.4			76.9	19.2		3.8		
峡西	77	罹患姉数	34	12	5	13	2	7	3	2	1	26	6	1	1		
		対全姉 %	44.2	15.6	6.5	16.9	2.6	9.1	3.9	2.6	1.3						
		対罹患姉%		35.3	14.7	38.2	5.9	20.6	8.8	5.9	2.9	76.5	17.6	2.9	2.9		
東山梨	87	罹患姉数	34	22	5	8		7	4		1	23	10		1		
		対全姉 %	39.1	25.3	5.7	9.2		8.0	4.6		1.1						
		対罹患姉%		64.7	14.7	23.5		20.6	11.8		2.9	67.6	29.4		2.9		
東八代	84	罹患姉数	23	15	3	9		4	1	1	1	16	4	2	1		
		対全姉 %	27.4	17.9	3.6	10.7		4.8	1.2	1.2	1.2						
		対罹患姉%		65.2	13.0	39.1		17.4	4.3	4.3	4.3	69.6	17.4	8.7	4.3		
峡南	50	罹患姉数	26	16	6	12	1	1	3		2	16	6	3	1		
		対全姉 %	52.0	32.0	12.0	24.0	2.0	2.0	6.0		4.0						
		対罹患姉%		61.5	23.1	46.2	3.8	3.8	11.5		7.7	61.5	23.1	11.5	3.8		
峡北	63	罹患姉数	35	20		5	2	5	2		3	33	2				
		対全姉 %	55.6	31.7		7.9	3.2	7.9	3.2		4.8						
		対罹患姉%		57.1		14.3	5.7	14.3	5.7		8.6	94.3	5.7				
富士北麓	68	罹患姉数	33	23	3	7	1	8	1	1	1	25	6		2		
		対全姉 %	48.5	33.8	4.4	10.3	1.5	11.8	1.5	1.5	1.5						
		対罹患姉%		69.7	9.1	21.2	3.0	24.2	3.0	3.0	3.0	75.8	18.2		6.1		
東部	87	罹患姉数	21	8	2	5		6	1	1	1	19	1	1			
		対全姉 %	24.1	9.2	2.3	5.7		6.9	1.1	1.1	1.1						
		対罹患姉%		38.1	9.5	23.8		28.6	4.8	4.8	4.8	90.5	4.8	4.8			
総計	625	罹患姉数	232	130	25	69	6	43	19	5	10	178	40	7	7		
		対全姉 %	37.1	20.8	4.0	11.0	1.0	6.9	3.0	0.8	1.6						
		対罹患姉%		56.0	10.8	29.7	2.6	18.5	8.2	2.2	4.3	76.7	17.2	3.0	3.0		

域別では、東山梨地域が46.4%と、受診率が高く、甲府地域が25.6%と低い値を示している。

7 乳幼児の生活する住環境の状況

(1) 住宅の建築構造や建築の様式の状況（表19参照）

乳幼児のアレルギー性疾患の増加の原因の1つに、急激な住環境の変化があげられている。そこで、今日の乳幼児の住む住宅について、その建築様式や建築構造について、調査をおこなった。

i) 建築の様式

全体では、一戸建が71.4%を占め、マンションなどの集合住宅の22.3%を大きく上回っている。地域別では、甲府地域や東部地域などの市街地や開発の進んでいる地域で集合住宅が多い結果となっている。

ii) 建築構造

全体では、木造建築が50.6%と半数に止まる結果となっており、峡西地域が28.3%と急激な減少を示し、甲府地域とともに5割を下まわり、木造からコンクリートに、一戸建から集合住宅に移行している都市型の住宅に変わっている結果となっている。

表12 弟の現在までのアレルギー性疾患の罹患状況

地域名	調査対象 弟の数	項目	疾病名 今までの 罹った	アトピー性 皮膚炎	気管支 喘息	鼻炎 花粉症	アレルギー 食物	じん 麻疹	湿 疹	ダニ アレルギー	その他の アレルギー	アレルギー性疾患の 重複の状況					
												1 個	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個
甲府	72	罹患弟数	8	5	2				3			7		1			
		対全弟 %	11.1	6.9	2.8				4.2								
		対罹患弟%		62.5	25.0				37.2			87.5		12.5			
峡西	37	罹患弟数	17	12	2	2	1	2	1			15	1	1			
		対全弟 %	45.7	32.4	5.4	5.4	2.7	5.4	2.7								
		対罹患弟%		70.6	11.8	11.8	5.9	11.8	5.9			88.2	5.9	5.9			
東山梨	70	罹患弟数	5	3	1				1			5					
		対全弟 %	7.1	4.3	1.4				1.4								
		対罹患弟%		60.0	20.0				20.0			100					
東八代	37	罹患弟数	10	8	2				1		1	8	2				
		対全弟 %	27.0	21.6	5.4				2.7		2.7						
		対罹患弟%		80.0	20.0				10.0		10.0	80.0	20.0				
峡南	36	罹患弟数	17	12	2	1	1	2	5			11	6				
		対全弟 %	47.2	33.3	5.6	2.8	2.8	5.6	13.9								
		対罹患弟%		70.6	11.8	5.9	5.9	11.8	29.4			64.7	35.3				
峡北	56	罹患弟数	14	7	5	2		2	1			11	3				
		対全弟 %	25.0	12.5	8.9	3.6		3.6	1.8								
		対罹患弟%		50.0	35.7	14.3		14.3	7.1			78.6	21.4				
富士北麓	26	罹患弟数	18	13	4			2	1	5	2	10	7	1			
		対全弟 %	69.2	50.0	15.4			7.7	3.8	19.2	7.7						
		対罹患弟%		72.2	22.2			11.1	5.6	27.8	11.1	55.6	38.9	5.6			
東部	65	罹患弟数	12	5	1	2		1	5			10	2				
		対全弟 %	18.5	7.7	1.5	3.1		1.5	7.7								
		対罹患弟%		41.7	8.3	16.7		8.3	41.7			83.4	16.7				
総計	399	罹患弟数	101	65	19	7	2	9	18	5	3	77	21	3			
		対全弟 %	25.3	16.3	4.8	1.8	0.5	2.3	4.5	1.3	0.8						
		対罹患弟%		64.4	18.8	6.9	2.0	8.9	17.8	5.0	0.3	76.2	20.8	3.0			

(2) 乳幼児の寝室の床材、敷布団や、掛け布団の材質などの状況 (表20参照)

乳幼児のアレルギー性疾患の原因には、乳幼児の生活する寝室の床の材質や布団がアレルゲンと考えられるのでその実態の調査をおこなった。

- i) 乳幼児が睡眠をとる寝室の床の材質については、畳の部屋が全体で、58.6%と6割を占め、カーペット・ジュータンが30.0%、板の間が10.5%となっている。地域的には、殆ど差異は認められなかった。
- ii) 乳幼児が睡眠をとる敷布団の材質は、敷布

団を敷いて、76.5%と8割を占め、ベッドは23.5%に止まっている。地域的には殆ど差異は認められなかった。

- iii) 乳幼児が睡眠をとる掛け布団の材質は、綿の布団が78.2%と大半を占め、羊毛、羽毛は3割に止まっている。
- iv) 乳幼児の遊ぶ子供部屋の床の材質は (表21参照)、寝室と同じように畳が多く51.3%と半数を占め、カーペット・ジュータンが30.0%、板が10.5%となっている。地域的には、峡南地域がやや畳が多くなっている。

表13 妹の現在までのアレルギー性疾患の罹患状況

地域名	調査対象妹の数	項目	疾病名 今までの罹患状況	アトピー性 皮膚炎	気管支 喘息	鼻炎 アレルギー 花粉症	食物 アレルギー	じん ましん	湿 疹	ダ ニ ア レ ル ギ ー	その 他の ア レ ル ギ ー	アレルギー性疾患の 重複の状況					
												1 個	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個
甲府	70	罹患妹数	4	2	1				1		1	3	1				
		対全妹 %	5.7	2.9	1.4				1.4		1.4						
		対罹患妹%		50.0	25.0				25.0		25.0	75.0	25.0				
峡西	29	罹患妹数	15	9	3	5	2	1				11	3	1			
		対全妹 %	51.7	31.0	10.3	17.2	6.9	3.4									
		対罹患妹%		60.0	20.0	33.3	13.3	6.7				73.3	20.0	6.7			
東山梨	56	罹患妹数	6	4	2							6					
		対全妹 %	10.7	7.1	3.6												
		対罹患妹%		66.7	33.3							100					
東八代	38	罹患妹数	3	3								3					
		対全妹 %	7.9	7.9													
		対罹患妹%		100								100					
峡南	38	罹患妹数	11	7	2	2			1		1	9	2				
		対全妹 %	28.9	18.4	5.3	5.3			2.6		2.6						
		対罹患妹%		63.6	18.2	18.2			9.1		9.1	81.8	18.2				
峡北	43	罹患妹数	7	3	2	1		4	2		1	3	2	2			
		対全妹 %	16.3	7.0	4.7	2.3		9.3	4.7		2.3						
		対罹患妹%		42.9	28.6	14.3		57.1	28.6		14.3	42.9	28.6	28.6			
富士北麓	37	罹患妹数	15	9				1	6			14	1				
		対全妹 %	40.5	24.3				2.7	16.2								
		対罹患妹%		60.0				6.7	40.0			93.3	6.7				
東部	49	罹患妹数	5	2	2	1			2			3	2				
		対全妹 %	10.2	4.1	4.1	2.0			4.1								
		対罹患妹%		40.0	40.0	20.0			40.0			60.0	40.0				
総計	360	罹患妹数	66	39	12	9	2	6	12		3	52	11	3			
		対全妹 %	18.3	10.8	3.3	2.5	0.6	1.7	3.3		0.8						
		対罹患妹%		59.1	18.2	13.6	3.0	9.1	18.2		4.5	78.8	16.7	4.5			

8 乳幼児の帰宅後の遊び場所の状況(表21参照)

乳幼児の成長、発達やアレルギー体質の脱却に、欠かすことができない帰宅後の遊びの状況についての遊び場所は、戸外と室内の両方で遊ぶ子供が、60.7%となっており、戸外と室内では戸外が12.9%、室内が27.0%と、室内が多くなっている。地域別では東山梨地域が15.5%、峡北地域15.2%と周辺部に外遊びをする乳幼児が多く、東部地域8.2%、甲府地域10.2%と都市化された市街部では外遊びが少なくなっている。

9 家庭でのペットの飼育状況(表22参照)

ペットとの接触や、ペットが媒介する寄生虫が、アレルゲンとして作用することは前述したところである。そこでペットの飼育状況では、ペットを飼育している家庭は約3割であり、ペットの種類は、犬が最も多く17.7%となっており、峡北地域24.1%、峡南地域22.7%が多く、東山梨地域13.0%、甲府地域13.7%の市街部が少なくなっている。次いで鳥類7.7%、猫6.6%の順となっている。

表14 その他の家族の現在までのアレルギー性疾患の罹患状況

地域名	家族調査対象の数	項目	疾病名 今までの罹った人	アトピー性皮膚炎	気管支喘息	鼻炎 アレルギー性花粉症	食物アレルギー	じんましん	湿疹	ダニアレルギー	その他のアレルギー	アレルギー性疾患の重複の状況					
												1個	2個	3個	4個	5個	6個
甲府	19	罹患者数 対全人員% 対罹患者%	4 21.1 25.0	1 5.3 25.0		4 21.1 100	1 5.3 25.0	1 5.3 25.0				2 50.0	1 25.0	1 25.0			
峡西	11	罹患者数 対全人員% 対罹患者%	0														
東山梨	15	罹患者数 対全人員% 対罹患者%	1 6.7 100			1 6.7 100		1 6.7 100	1 6.7 100		1 6.7 100				1 100		
東八代	8	罹患者数 対全人員% 対罹患者%	2 25.0			1 12.5 50.0		1 12.5 50.0				2 100					
峡南	17	罹患者数 対全人員% 対罹患者%	1 5.9 100			1 5.9 100						1 100					
峡北	17	罹患者数 対全人員% 対罹患者%	3 17.6 66.7	2 11.8 66.7		2 11.8 66.7		1 5.9 33.3				1 33.3	2 66.7				
富士北麓	9	罹患者数 対全人員% 対罹患者%	9 100 55.6	5 55.6 33.3	3 33.3 22.2	2 22.2 22.2		2 22.2 22.2	3 33.3 33.3			7 77.8			2 22.2		
東部	13	罹患者数 対全人員% 対罹患者%	4 30.8			2 15.4 50.0		1 7.7 25.0	1 7.7 25.0			4 100					
総計	109	罹患者数 対全人員% 対罹患者%	24 22.0 33.3	8 7.3 12.5	3 2.8 12.5	13 11.9 54.2	1 0.9 4.2	6 5.5 25.5	6 5.5 25.5		1 0.9 4.2	17 70.8	3 12.5	1 4.2	3 12.5		

10 乳幼児の1週間の入浴日数の状況(表23参照)
アトピー性皮膚炎の罹患については、皮膚の清潔さがかかっていると思われるので、乳幼児の1週間の入浴日数を調査した結果は、調査が7～8月の夏季に行ったことも影響してか毎日が88.2%と大半を占める結果となっており、地域的にも差異は認められなかった。

11 乳幼児の家庭での食生活の状況

アレルギー性疾患と食生活の関連は大変深いかわりがあるとされ、殊に、乳幼児の食物がアレルゲンとして作用することは、今日まで明らかに

なっているところである。

(1) 乳幼児の食物の好き嫌いの有無(表24参照)

乳幼児の食物で好き嫌いについては、好き嫌いが殆どないが、全体で41.1%、好き嫌いが無い19.7%と、好き嫌いのない乳幼児が6割を占め、好き嫌が多い12.2%、好き嫌いがある34.0%を上回っている。地域的には差異は殆ど認められなかった。

(2) 家庭での主食の種類の状況(表24参照)

乳幼児の家庭での主食は、主として白米が95.3%と大半を占める結果となっている。地域別では、峡南地域が主として、玄米などの自然

表15 家族全員のアレルギー性疾患の罹患状況

項 目	乳幼児	父	母	祖父	祖母	兄	姉	弟	妹	その他	総計
全人数	1,717	1,614	1,686	543	713	690	625	399	360	109	8,456
罹ったこと がある人数	939 54.7%	461 28.6%	698 44.1%	78 14.4%	93 12.3%	288 41.7%	232 37.1%	101 25.3%	66 18.3%	24 22.0%	2,980 35.2%
アトピー性 皮膚炎	547 58.3%	38 8.2%	48 6.9%	2 2.6%	3 3.2%	158 54.9%	130 56.0%	65 64.4%	39 59.1%	8 33.3%	1,038 34.9%
アレルギー 鼻炎	125 13.3%	312 67.7%	553 79.2%	32 40.3%	39 41.9%	129 44.8%	69 29.7%	7 6.9%	9 3.0%	13 54.2%	1,288 43.3%
気管支喘息	187 19.9%	40 8.7%	51 7.3%	26 32.5%	22 23.7%	54 18.8%	25 10.8%	19 18.8%	12 18.2%	3 12.5%	439 14.8%
じんましん	154 16.4%	61 13.4%	109 15.6%	6 7.8%	18 19.4%	30 10.4%	43 18.5%	9 8.9%	6 9.1%	6 25.5%	443 14.9%
湿 疹	21 2.2%	44 9.5%	61 8.7%	6 7.8%	9 9.7%	16 5.6%	19 8.2%	18 17.8%	12 18.2%	6 25.5%	212 7.1%
食物 アレルギー	52 5.5%	18 3.9%	29 4.2%	4 5.2%	5 5.4%	11 3.8%	6 2.6%	2 2.0%	2 3.0%	1 4.2%	131 4.4%
ダニ アレルギー	23 2.4%	3 0.7%	12 1.7%	0 0.0%	1 1.1%	17 5.9%	5 2.2%	5 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	66 2.2%
その他	48 5.1%	23 5.0%	44 6.3%	4 5.2%	10 10.8%	14 4.9%	10 4.3%	3 3.0%	3 4.5%	1 4.2%	160 5.4%
総 計	1,157 30.6%	540 14.3%	907 24.0%	80 2.1%	107 2.8%	429 11.4%	308 8.2%	128 3.4%	83 2.2%	38 1.0%	3,777

表16 家族全員のアトピー性皮膚炎の罹患状況

	全人数	罹患 人数	甲府	峡西	東山梨	東八代	峡南	峡北	富士 北麓	東部	総計
乳幼児	1,717	939 54.7%	43 47.3%	74 51.0%	73 58.4%	52 58.4%	64 69.6%	74 56.9%	128 73.6%	39 41.9%	547 58.3%
父	1,614	461 28.6%	4 6.9%	7 9.1%	3 5.6%	4 10.0%	6 12.5%	5 8.8%	8 10.4%	1 2.0%	38 8.2%
母	1,686	698 44.1%	5 4.9%	7 5.5%	8 9.0%	9 15.3%	2 2.9%	5 5.9%	5 5.5%	7 9.2%	48 6.9%
祖父	543	78 14.4%	0	1 11.1%	1 12.5%	0	0	0	0	0	2 8.2%
祖母	713	93 12.3%	0	0	2 15.4%	0	0	0	1 4.3%	0	3 3.2%
兄	690	288 41.7%	10 34.5%	20 37.7%	25 54.3%	19 70.4%	19 55.9%	25 62.5%	30 71.4%	10 58.8%	158 54.9%
姉	625	232 37.1%	14 53.8%	12 35.3%	22 64.7%	15 65.2%	16 61.5%	20 57.1%	23 69.7%	8 38.1%	130 56.0%
弟	399	101 25.3%	5 62.5%	12 70.6%	3 60.0%	8 80.0%	12 70.6%	7 50.0%	13 72.2%	5 41.7%	65 64.4%
妹	360	66 18.3%	2 50.0%	9 31.0%	4 66.7%	3 100.0%	7 63.3%	3 42.9%	9 60.0%	2 40.0%	39 59.1%
その他	109	24 22.0%	1 25.0%	0	0	0	0	2 66.7%	5 55.6%	0	8 33.3%
罹患者総数			336	492	381	268	318	385	501	300	2,981
総計 %	8,456	2,980 35.2%	84 25.0%	142 28.7%	141 37.0%	110 41.0%	126 39.6%	141 36.6%	222 44.3%	72 24.0%	1,038 34.8%

表17 家族全員のアレルギー性鼻炎の罹患状況

	全人数	罹患 人数	甲府	峡西	東山梨	東八代	峡南	峡北	富士 北麓	東部	総計
乳幼児	1,717	939	13 14.3%	29 20.0%	21 18.8%	13 14.6%	19 20.7%	15 11.5%	6 3.4%	9 9.7%	125 13.3%
父	1,614	461	37 63.8%	49 63.6%	38 70.4%	28 70.0%	37 77.1%	34 59.6%	48 62.3%	41 82.0%	312 67.7%
母	1,686	698	77 75.5%	106 83.5%	67 68.4%	44 74.6%	59 85.5%	72 84.7%	72 84.7%	56 73.7%	553 79.2%
祖父	543	78	3 30.0%	5 44.4%	2 25.0%	5 71.4%	3 50.0%	3 25.0%	8 42.1%	3 50.0%	32 40.3%
祖母	713	93	3 75.0%	2 14.3%	5 38.5%	6 75.0%	6 42.9%	1 50.0%	11 47.8%	5 31.3%	39 41.9%
兄	690	288	19 65.5%	28 52.8%	19 41.3%	11 40.7%	23 67.6%	11 27.5%	13 31.0%	5 29.4%	129 44.8%
姉	625	232	10 38.5%	13 38.2%	8 23.5%	9 39.1%	12 46.2%	5 14.3%	7 21.2%	5 23.8%	69 29.7%
弟	399	101	0 11.8%	2 11.8%	0 0%	0 0%	1 5.9%	2 14.3%	0 0%	2 16.7%	7 6.9%
妹	360	66	0 33.3%	5 33.3%	0 0%	0 0%	2 18.2%	1 14.3%	0 0%	1 20.0%	9 13.6%
その他	109	24	4 100%	0 0%	1 100%	1 50.0%	1 100%	2 66.7%	2 22.2%	2 50.0%	13 54.2%
罹患者総数			336	492	381	268	318	385	501	300	2,981
総計	8,456 35.2%	2,980	166 49.4%	239 48.6%	161 42.3%	117 43.7%	163 51.3%	146 37.9%	167 33.3%	129 43.0%	1,288 43.2%

食を主食としている家庭が13.4%、主としてパンが10.5%と健康に留意している結果となっている。

(3) 乳幼児の家庭の食事の多い献立の状況（表25参照）

乳幼児の家庭での食事の多い献立は、全体では和食が84.4%と大半を占め、次いで洋食15.3%、中華4.1%と続き、6%が複数回答をしている。地域的には殆ど差異は認められなかった。

12 乳幼児の出産時、授乳期の状況（表26参照）

乳幼児のアレルギー性疾患と出産時の状況や分娩の状況、授乳の方法などとの関連についての結果について

(1) 乳幼児の出産の状況

乳幼児の出産の時の状況は安産が44.4%、普

通が45.2%と9割が正常な出産で生まれ、難産は8.6%と低い値となっている。地域別では、難産が東八代地域14.7%、甲府地域11.4%とやや多い値となっている。

(2) 乳幼児の出産時の分娩の状況

乳幼児の出産時の分娩の状況は、全体で正常児が92.7%と大半を占めたが、未熟児も64人（3.7%）を数え、峡西地域が5%とやや多く、峡北地域が2.5%とやや少なくなっている。

(3) 乳幼児の授乳の方法

乳幼児期の授乳については、母乳だけが全体で25.0%と、全乳幼児の、1/4に止まっており、地域別では東山梨地域33.8%、峡北地域32.5%とやや多く、富士北麓地域11.9%、東部地域17.5%と少なくなっている。また、母乳の不足分を人工乳では、全体で29.7%となっており、地域的には殆ど差異は認められなかった。

表18 アレルギー性疾患での診察や治療の有無

地域名	項目	罹患児数	受けたことはない	受けたことがある	今も治療中	時々受診する	その他	無記入	重複回答	
									2	3
甲府	人数 %	91	113 53.6	54 25.6	10 4.7	18 8.5	1 0.5	15 7.1		
峡西	人数 %	145	106 41.1	104 40.3	13 5.0	25 9.7	2 0.8	11 4.1	3	
東山梨	人数 %	125	76 36.7	96 46.4	9 4.3	13 6.3	2 1.0	13 6.3		1
東八代	人数 %	89	60 40.0	62 41.3	6 3.5	17 11.3	2 1.2	6 4.0	3	
峡南	人数 %	92	74 43.0	72 41.9	6 3.5	11 6.4	1 0.6	4 2.3		
峡北	人数 %	130	112 47.3	83 35.0	4 1.7	20 8.4	3 1.3	15 6.3		
富士北麓	人数 %	174	129 41.5	129 41.5	8 2.6	29 9.3	3 1.0	16 5.1	3	
東部	人数 %	93	73 42.7	69 40.4	11 6.4	7 4.1		12 7.0		
総計	人数 %	939	743 43.3	669 39.0	67 3.9	140 8.2	14 0.8	92 5.4	9	1

表19 住宅の建築様式、建築構造の状況

地域名	項目	建築様式					建築構造				
		一戸建て	集合住宅	その他	無記入	重複回答 2	木造建築	コンクリート建築	その他	無記入	重複回答 2
甲府	人数 %	129 61.1	69 32.7		13 6.2		96 45.5	20 9.5	3 1.4	92 43.6	
峡西	人数 %	182 70.5	63 24.4		5 1.9		73 28.3	81 31.4	8 3.1	94 36.4	1
東山梨	人数 %	161 77.8	36 17.4		10 4.8		135 65.2	13 6.3	3 1.4	56 27.1	
東八代	人数 %	107 71.3	38 25.3		5 3.3		91 60.7	13 8.7		2 1.3	1
峡南	人数 %	138 80.2	15 8.7	1 0.6	9 5.3	2	94 54.7	9 5.3	1 0.6	37 21.5	
峡北	人数 %	163 68.8	59 24.9		15 6.3		126 53.2	14 5.9	2 0.8	95 40.1	
富士北麓	人数 %	239 76.8	56 18.0		16 5.1		173 55.6	36 11.6		101 32.5	
東部	人数 %	107 62.6	47 27.5		17 9.9		80 46.8	15 8.8	2 1.2	74 43.3	
総計	人数 %	1226 71.4	383 22.3	1 0.06	90 5.2		868 50.6	201 11.7	21 1.2	594 34.6	4

表20 乳幼児の寝室の床、敷布団、掛け布団の材質の状況

地域名	項目	子供の寝室の床材					子供の敷布団の材質					子供の掛け布団の材質					
		畳の部屋	ジュート	カーペット	板の間	その他	無記入	ベツド	敷布団をい	その他	無記入	複数回答	綿	羊毛	羽毛	その他	無記入
												2					2
甲府	人数 %	119 56.4	69 32.7	28 13.3			2 0.9	63 29.9	150 71.1		3 1.4	2	156 73.9	47 22.3	32 15.2		3 1.4
峡西	人数 %	152 58.9	81 31.4	31 12.0	1 0.4	2 0.8	55 21.3	204 79.1	1 0.4			2	255 87.2	31 12.0	34 13.2	2 0.8	1 0.4
東山梨	人数 %	114 55.1	61 29.5	32 15.5	1 0.5	1 0.5	43 20.8	162 78.3	4 1.9	1 0.5			161 77.8	28 13.5	35 16.9		1 0.5
東八代	人数 %	89 59.3	45 30.0	18 12.0	1 0.7		30 20.0	123 82.0				3	129 86.0	10 6.7	24 16.0	1 0.7	
峡南	人数 %	102 59.3	39 22.7	29 16.9		3 1.7	43 25.0	127 73.8	1 0.6	1 0.6			138 80.2	20 11.6	34 19.8	4 2.3	2 1.2
峡北	人数 %	133 56.1	71 30.0				57 24.1	184 77.6	2 0.8			6	188 79.3	32 13.5	36 15.2	2 0.8	1 0.4
富士北麓	人数 %	184 59.2	105 33.8	24 7.7	2 0.6	2 0.6	77 24.8	231 74.3	2 0.6	1 0.3			222 71.4	36 11.6	81 26.0	5 1.6	2 0.6
東部	人数 %	114 66.7	44 25.7	18 10.5	1 0.6		36 21.7	133 77.8	2 1.2				123 71.9	28 16.4	41 24.0	1 0.6	
総計	人数 %	1007 58.6	517 30.0	180 10.5	6 0.3	10 0.6	404 23.5	1314 76.5	12 0.7	6 0.3	19	1342 78.2	232 12.6	317 17.7	15 0.9	10 0.6	182

前兩者を合わせた母乳を主体とした授乳については、約半数となっている。反面、人工乳が殆どで時々母乳を与えたでは、全体で31.2%、人工乳だけでは12.7%と低い値に止まっており、地域別では、東部地域23.4%、富士北麓地域20.3%と高い値を示したが、全体として母乳による授乳が定着している結果となっている。

13 乳幼児を妊娠中の母の卵、タバコ、アルコール、コーヒーの摂取の状況

乳幼児を妊娠中の母の卵やタバコ、お酒などのアルコール、コーヒーなどの摂取量と子供のアレルギー性疾患との関連性について調査した結果について

(1) 乳幼児を妊娠中1日に摂取した量(表27参照)

i) 妊娠中1日に摂取した卵の量

妊娠中の卵の摂取量は、全体的には毎日2～3個と多く食べた母は15.6%となって

おり、地域的には峡西地域、東山梨地域に多くみられた。毎日1個程度が39.5%、週2～3個が32.8%と両者で7割を占めている。殆ど食べなかったは9.7%と少なく、地域別では峡南地域、富士北麓地域に多く認められた。

ii) 妊娠中1日に吸ったタバコの本数

妊娠中の喫煙量は、全体的には吸っていなかったが90.3%と大半を占め、地域別では、東山梨地域、峡北地域が高く、甲府地域がやや低い値となり、喫煙者が多い結果となっている。

iii) 妊娠中のアルコール飲料摂取の程度

妊娠中の酒、ビール、ウイスキーなどのアルコール飲料の摂取については、全体的には、飲まなかったが82.2%となっており、地域的には東山梨地域、甲府地域、峡西地域がやや高く、峡南地域、富士北麓地域が

表21 子供部屋の床の材質、帰宅後の遊び場

地域名	項目	子供が遊ぶ部屋の床の材質							子供の帰宅後の遊び場所					
		畳の部屋	ジカユールペタット	板の間	その他の	無記入	複数回答		戸外	室内	戸外と室内	その他の	無記入	複数回答
							2	3						
甲府	人数 %	91 43.1	95 45.0	43 20.4		6 2.8	24		22 10.4	92 43.6	98 46.7			1
峡西	人数 %	130 50.4	108 41.9	63 24.4	2 0.8	4 1.6	39	5	35 13.6	48 18.6	180 69.8			2
東山梨	人数 %	98 47.3	81 39.1	31 15.0	3 1.4	8 3.9	12	1	32 15.5	52 25.1	123 59.4		1 0.5	2
東八代	人数 %	73 48.7	54 36.0	35 23.3		2 1.3	14		15 10.0	38 25.3	95 66.3	2 1.3		
峡南	人数 %	115 66.9	42 24.4	31 18.0		1 0.6	17		25 14.5	44 25.6	105 61.0			2
峡北	人数 %	115 48.5	83 35.4	56 23.6	3 1.3	7 3.0	7		36 15.2	45 19.0	153 67.1			3
富士北麓	人数 %	166 54.0	114 36.7	51 16.4	1 0.3	7 2.7	28	1	42 13.7	84 27.0	184 59.2	2 0.6	2 0.6	3
東部	人数 %	90 52.6	56 32.7	48 28.1	1 0.6	3 1.8	23	2	14 8.2	61 35.7	98 57.3			2
総計	人数 %	880 51.3	633 36.9	358 20.9	10 0.6	38 2.2	184	9	221 12.9	464 27.0	1042 60.7	4 0.2	3 0.2	17

表22 家庭でのペットの飼育状況

地域名	ペット名 項目	飼っていない	犬	猫	兎	リス・ネズミ	鳥類	その他の	無記入	複数回答		
										2個	3個	4個
甲府	人数 %	158 74.9	29 13.7	13 6.2	6 2.8		5 2.4		6 2.8	6		
峡西	人数 %	170 65.9	48 18.6	8 3.1	3 1.2	3 1.2	29 11.2	7 2.7	6 2.3	9	4	
東山梨	人数 %	146 70.5	27 13.0	12 5.8	4 1.9	3 1.4	18 8.7	9 4.3	2 1.0	9	1	
東八代	人数 %	104 69.3	28 18.7	6 4.0	3 2.0	2 1.3	7 4.7	3 2.0	3 2.0	2	2	
峡南	人数 %	103 59.9	39 22.7	19 11.0	8 4.7	2 1.2	22 12.8	7 4.1	1 0.6	19	3	1
峡北	人数 %	147 62.0	57 24.1	12 5.1	3 1.3	1 0.4	14 5.9	11 4.6	6 2.5	12	1	
富士北麓	人数 %	233 74.9	49 15.8	13 4.2	1 0.3	3 1.0	23 7.4		3 1.0	12	1	
東部	人数 %	122 71.3	27 15.8	31 18.1	4 2.3	1 0.6	14 8.2		2 1.2	5	2	
総計	人数 %	1183 68.9	304 17.7	114 6.6	32 1.9	15 0.9	132 7.7	37 2.2	29 1.7	74	14	1

表23 乳幼児の1週間の入浴日数

地域名	日数 項目	毎 日	6 日	5 日	4 日	3 日	2 日	1 日	そ の 他	無 記 入
甲 府	人数 %	174 82.5	20 9.5	13 6.2	4 1.9					
峡 西	人数 %	233 90.3	16 6.2	6 2.3	2 0.8		1 0.4			
東 山 梨	人数 %	196 94.7	5 2.4	4 1.9	2 1.0					
東 八 代	人数 %	137 91.3	7 4.7	4 2.7	2 1.3					
峡 南	人数 %	154 89.5	10 5.8	3 1.7	5 2.9					
峡 北	人数 %	202 85.2	11 4.6	14 5.9	6 2.5	4 1.7				
富士北麓	人数 %	264 84.9	22 7.1	13 4.2	3 1.0	3 1.0		1 0.3	3 1.0	2 0.6
東 部	人数 %	155 90.4	7 4.1	8 4.7						1 0.6
総 計	人数 %	1515 88.2	98 5.7	65 3.8	24 1.4	7 0.4	1 0.06	1 0.06	3 0.2	3 0.2

表24 乳幼児の食物の好き嫌いと家庭での主食の種類

地域名	項 目	子供の食物の好き嫌いの有無								家庭での食事の主食					
		多 好 い き 嫌 い が	あ 好 る き 嫌 い が	殆 好 ん き ど 嫌 い が	な 好 い き 嫌 い が	分 か ら な い	そ の 他	無 記 入	重 複 回 答	白 主 米 と し て	米 主 等 と 自 し 然 て 食 玄	パ 主 ン と し て	そ の 他	無 記 入	複 数 回 答
									2						2
甲 府	人数 %	24 11.4	72 34.1	78 37.0	24 11.4	10 4.7	2 0.9	1 0.5		207 98.1		1 0.5	1 0.5	2 0.9	
峡 西	人数 %	31 12.0	89 34.5	104 40.3	32 12.4	1 0.4		1 0.4		254 98.4			5 1.9		1
東 山 梨	人数 %	12 5.8	67 32.4	99 47.8	26 12.6	1 0.5	2 1.0			203 98.1	2 1.0		2 1.0		
東 八 代	人数 %	10 6.7	54 36.0	68 45.3	15 10.0	1 0.7	1 0.7	1 0.7		146 97.3		1 0.7	4 2.7		1
峡 南	人数 %	56 32.6	57 33.1	46 26.7	12 7.0	1 0.6				127 73.8	23 13.4	18 10.5	3 1.7	1 0.6	
峡 北	人数 %	26 11.0	92 38.8	88 37.1	28 11.8	1 0.4	1 0.4	1 0.4		227 95.8	10 4.2	1 0.4		1 0.4	2
富士北麓	人数 %	36 11.6	98 31.5	141 45.3	32 10.3	2 0.6	2 0.6			302 97.1	1 0.3		7 2.3	1 0.3	
東 部	人数 %	14 8.2	55 33.2	82 48.0	15 8.8	2 1.2	1 0.6	2 1.2		170 99.4	1 0.6	1 0.6		1 0.4	2
総 計	人数 %	209 12.2	584 34.0	706 41.1	184 19.7	19 1.1	9 0.5	6 0.3		1636 95.3	37 2.2	22 1.3	22 1.3	6 0.6	6

表25 乳幼児の家庭で多い献立

地域名	項目	和食	洋食	中華	その他	無記入	重複回答	
							2	3
甲府	人数 %	183 86.7	24 11.4	12 5.7	5 2.4	2 0.9	11	2
峡西	人数 %	227 88.0	40 15.5	13 5.0	7 2.7	2 0.8	19	6
東山梨	人数 %	170 82.1	28 13.5	9 4.3	5 2.4	2 1.0	7	
東八代	人数 %	120 80.0	31 20.7	6 4.0	3 2.0		10	
峡南	人数 %	147 85.5	26 15.1	4 2.3	5 2.9	1 0.6	11	
峡北	人数 %	200 84.4	47 19.8	11 4.6	1 0.4		16	3
富士北麓	人数 %	256 82.3	45 14.5	10 3.2	7 2.3	6 1.9	9	2
東部	人数 %	147 86.0	21 12.3	6 3.5	7 4.1	5 2.9	13	1
総計	人数 %	1450 84.4	262 15.3	71 4.1	40 2.3	18 1.0	96	14

表26 乳幼児の出産時、授乳期の状況

地域名	項目	出産の状態					分娩時の状態				授乳の方法						
		安	普	難	そ	無	未	正	そ	無	母乳だけ	人乳口乳不足分	人乳時々母乳が乳殆	人工乳だけ	そ	無	重複回答
		産	通	産	の他	記入	熟児	常児	の他	記入				の他	記入	2	
甲府	人数 %	88 41.7	96 45.5	24 11.4		3 1.4	9 4.3	192 91.0	6 2.8	4 1.9	46 21.8	75 33.9	67 31.8	20 9.5	4 1.8	1 0.5	2
峡西	人数 %	123 47.7	113 43.8	21 8.1		1 0.4	13 5.0	240 93.0	3 1.2	2 0.8	78 30.2	71 27.5	83 32.2	18 7.0	7 2.7	4 1.6	3
東山梨	人数 %	96 46.4	98 47.3	9 4.3		4 1.9	9 4.3	191 92.3	1 0.5	6 2.9	70 33.8	59 28.5	58 28.0	16 7.7	4 1.9		
東八代	人数 %	67 44.7	61 40.7	22 14.7			6 4.0	140 93.3	1 0.7	3 2.0	44 29.3	49 32.7	35 23.3	19 12.7	3 2.0		
峡南	人数 %	77 44.8	79 45.3	16 9.3			7 4.1	159 92.4	2 1.2	4 2.3	48 27.9	41 23.8	59 34.2	24 14.0			
峡北	人数 %	111 46.8	106 44.7	19 8.0	1 0.4		6 2.5	225 94.9	1 0.4	5 2.1	77 32.5	90 38.0	52 21.9	18 7.6		2 0.8	2
富士北麓	人数 %	133 42.7	148 47.6	21 6.8		9 2.9	7 2.3	287 92.3	3 1.0	14 4.5	37 11.9	82 26.4	124 39.9	63 20.3	4 1.3	1 0.3	
東部	人数 %	68 39.8	85 49.7	16 9.4		2 1.2	7 4.1	158 92.4	1 0.6	5 2.9	30 17.5	43 25.1	58 33.9	40 23.4			
総計	人数 %	763 44.4	786 45.2	148 8.6	1 0.06	19 1.1	64 3.7	1592 92.7	18 1.0	43 2.5	430 25.0	510 29.7	536 31.2	218 12.7	22 1.3	8 0.5	7

表27 乳幼児を妊娠中の母の卵、タバコ、アルコール、コーヒーの摂取量

地域名	項目	1日に摂取した卵の個数						1日に吸ったタバコの本数						アルコールの飲量					コーヒーの飲量					
		毎日2 〜 3個	毎日 1 個	週 2 〜 3 個	殆んど 食べ ない	そ の 他	無 記 入	吸 つ て い な か っ た	1 日 4 本 以 下	1 日 5 〜 9 本	1 日 10 〜 20 本	1 日 20 本 以 上	そ の 他	無 記 入	飲 ま な か っ た	時 々 飲 ん だ	毎 日 飲 ん だ	そ の 他	無 記 入	飲 ま な か っ た	時 々 飲 ん だ	毎 日 飲 ん だ	そ の 他	無 記 入
甲府	人数 %	56 26.5	94 44.5	48 22.7	11 5.2		2 0.9	175 82.9	11 5.2	15 7.1	7 3.3		1 0.5	2 0.9	181 85.8	28 13.3			2 0.9	59 28.0	128 57.9	22 10.4		2 0.9
峡西	人数 %	95 36.8	118 45.7	34 13.0	8 3.1		3 1.2	231 89.5	7 2.7	4 1.6	13 5.0	2 0.8		1 0.4	220 85.3	30 11.6	4 1.6	1 0.4	3 1.2	95 36.8	138 53.5	23 8.9		2 0.8
東山梨	人数 %	64 30.9	113 54.6	27 13.0	2 1.0		1 0.5	193 93.2	3 1.4	4 1.9	7 3.4				183 88.4	24 11.6				87 42.0	108 52.0	12 5.8		
東八代	人数 %	3 2.0	52 34.7	69 46.0	20 13.3	4 2.7	2 1.3	134 89.3	5 3.3	5 3.3	6 4.0				123 82.0	26 17.3	1 0.7			54 36.0	82 54.7	14 9.3		
峡南	人数 %	5 2.0	51 29.7	76 44.2	32 18.6	4 2.3	4 2.3	158 91.9	6 3.5	2 1.2	4 2.3		1 0.6	1 0.6	131 76.2	40 23.3			1 0.6	76 44.2	83 48.3	11 6.4		2 1.2
峡北	人数 %	19 8.0	93 39.2	102 43.0	22 9.3	1 0.4		221 93.2	3 1.3	6 2.5	7 3.0				198 83.5	39 16.5				88 37.1	129 54.4	20 8.7		
富士北麓	人数 %	8 2.6	90 28.9	149 47.9	51 16.4	10 3.2	3 1.0	284 91.3	8 2.6	8 2.6	6 1.9	3 1.0		2 0.6	237 76.2	69 22.2	2 0.6		3 1.0	103 33.1	172 56.6	33 10.6		2 0.6
東部	人数 %	17 9.9	67 39.2	59 34.5	20 11.7	2 1.2	6 3.5	155 90.6	7 4.1	6 3.5	1 0.6		1 0.6	1 0.6	138 80.7	31 18.1	1 0.6		1 0.6	48 28.1	93 54.4	27 15.8	1 0.6	2 1.2
総計	人数 %	267 15.6	678 39.5	564 32.8	166 9.7	21 1.2	21 1.2	1551 90.3	50 2.9	50 2.9	51 3.0	5 0.3	3 0.2	7 0.4	1411 82.2	287 16.7	8 0.5	1 0.06	10 0.6	610 35.5	934 54.4	162 9.4	1 0.06	10 0.6

表28 母の妊娠中の家事以外の仕事の有無

地域名	項目	していた	かしていた	その他	無記入
甲府	人数 %	132 62.6	71 33.6	5 2.4	3 1.4
峡西	人数 %	141 54.7	103 39.9	11 4.3	3 1.2
東山梨	人数 %	95 45.9	104 50.2	8 3.9	
東八代	人数 %	68 45.3	70 46.7	12 8.0	
峡南	人数 %	80 46.5	83 48.3	5 2.9	4 2.3
峡北	人数 %	100 42.2	130 54.9	4 1.7	3 1.3
富士北麓	人数 %	165 53.1	120 38.6	20 6.4	6 1.9
東部	人数 %	90 52.6	75 43.9	5 2.9	1 0.6
総計	人数 %	871 50.7	756 44.0	70 4.1	20 1.2

やや低くなっている。

iv) 妊娠中のコーヒー飲料摂取の程度

妊娠中のコーヒー飲料の摂取については、全体では時々飲んだが54.4%、毎日飲んだが9.4%となっており、両者を合わせた飲んでいた母は6割強となっている。飲まなかったでは35.5%となっており、地域的には峡南地域、東山梨地域が多く、東部地域、甲府地域がやや低い値となっている。

14 妊娠中の家事以外の仕事の有無（表28参照）

乳幼児を妊娠中家事以外の仕事していた母は、全体で50.7%と半数を占めており、女性（母）の社会・職場進出が進んでいる結果となっている。していなかったでは44.0%で、地域別では、甲府地域が33.6%と低く、峡北地域54.9%、東山梨地域50.2%と半数を越える結果となっている。

15 乳幼児の離乳食の内容と離乳の時期の状況（表29参照）

乳幼児の離乳食がアレルギーとして作用するこ

とは、十分に考えられるので、その内容や開始時期について調査した結果について

(1) 離乳食の内容

乳幼児に対する離乳食の内容は、全体では手作りの物が36.6%となっており、手作りとし販の物の混合が50.0%を占め、前者と合わせた何らかの形で手作りの離乳食を与えた家庭は8割以上になっている。反面、市販の物のみが全体で9.7%となっており、地域別では、峡南地域が31.4%、東八代地域16.7%と高い値を示している。

(2) 離乳を開始した時期については、全体では6.1ヶ月となっており、地域別では、東山梨地域が5.5ヶ月、峡西地域が5.8ヶ月とやや早く離乳を開始している結果となっている。

16 乳幼児期によく食べさせた食品や、飲食時に下痢や吐き気を訴えた症状の状況

(1) 家庭で乳幼児によく食べさせている食物の状況（表30参照）

日頃乳幼児によく食べさせている食物を、複数回答で選択肢から選んでもらった結果は、全体として1位が魚で67.7%であり、地域別では東八代地域が62.7%とやや低い以外は差は認められなかった。2位は果物で、全体では64.5%となっており、峡南地域、東山梨地域がともに7割以上と多く、甲府地域、東部地域がやや低い値を示した。3位は牛乳で、全体では63.8%となっており、地域別では、峡西地域が多く他の地域は差は認められなかった。次いで、卵、肉、カルシウムの順となっている。また、重複回答では、2個以上が約9割をしめており、子供の成長に必要な栄養のバランスに配慮されている結果となっている。

(2) 乳幼児が飲食した時の下痢や吐き気の状況（表31参照）

i) 牛乳を飲んだ時

乳幼児が牛乳を飲んだ時の下痢や吐き気の有無については、全体では、いつもあったが10人（0.6%）、時々あったが67人（3.9%）と下痢や吐き気のあった乳幼児は77人（4.5%）とかなり低い値に止まっている。地域別では、東山梨地域がやや少ない結果となっている。

表29 乳幼児の離乳食の内容と離乳の時期

離乳食の内容									離乳の時期		
地域名	項目	手作りの物	市販の物	手作り のり 混と 合	いよ なく い 覚 え て	そ の 他	無 記 入	複 数 回 答 2	項目	月 数	無 記 入
甲府	人数 %	72 34.1	15 7.1	120 56.9	3 1.4		3 1.4	2	平均 人数	6.0 186	25
峡西	人数 %	95 38.6	27 10.5	129 50.0	6 2.3		2 0.8	1	平均 人数	5.8 232	26
東山梨	人数 %	79 38.2	19 9.2	104 50.2	5 2.4	1 0.5		1	平均 人数	5.5 181	26
東八代	人数 %	51 34.0	25 16.7	70 46.7	2 1.3		2 1.3		平均 人数	6.3 131	19
峡南	人数 %	54 31.4	54 31.4	58 33.7	3 1.7		3 1.7		平均 人数	6.1 151	21
峡北	人数 %	104 43.9	5 2.1	126 53.2	4 1.7		1 0.4	3	平均 人数	6.3 207	30
富士北麓	人数 %	109 35.0	17 5.5	170 54.7	10 3.2	4 1.3	3 1.0	2	平均 人数	6.3 279	32
東部	人数 %	65 38.0	5 2.9	91 53.2	10 5.8		2 1.2	2	平均 人数	6.3 146	25
総計	人数 %	629 36.6	167 9.7	868 50.0	43 2.5	5 0.3	16 0.9	11	平均 人数	6.1 1,513	204

表30 家庭で子供によく食べさせている食物の状況

地域名	項目	卵	牛乳	緑黄色野菜	果物	肉	魚	ビタミン	ミネラル	カルシウム	特 に な い	そ の 他	無 記 入	重 複 回 答								
														1 個	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個	7 個	8 個	9 個
甲府	人数 %	87 41.2	130 61.6	111 52.6	119 56.4	73 34.6	147 69.7	14 6.6	16 7.6	47 22.3	8 3.8	5 2.4	1 0.5	24	33	46	42	36	15	4	2	5
峡西	人数 %	124 48.1	182 70.5	161 62.4	172 66.7	132 51.2	180 69.8	12 4.7	19 7.4	52 20.2	8 3.1	8 3.1		17	22	67	48	52	36	12	2	1
東山梨	人数 %	84 40.6	132 63.8	120 58.0	147 71.0	96 46.4	143 69.1	16 7.7	14 6.8	40 19.3	6 2.9	8 3.9	2 1.0	24	22	26	59	29	30	7	3	4
東八代	人数 %	72 48.0	91 60.7	87 58.0	98 65.3	70 46.7	94 62.7	10 6.7	12 8.0	34 22.7	8 5.3	5 3.3		18	18	31	19	26	23	9	5	1
峡南	人数 %	83 48.3	111 64.5	93 54.1	123 71.5	85 49.4	120 69.8	12 7.0	10 5.8	32 18.6	8 4.7	3 1.7	1 0.6	13	19	34	42	31	24	5	2	1
峡北	人数 %	108 45.6	150 63.3	158 66.7	157 66.2	98 41.4	156 65.8	19 8.0	19 8.0	47 19.8	12 5.1	11 4.6	1 0.4	20	27	57	40	45	32	7	6	2
富士北麓	人数 %	136 43.7	193 62.1	159 51.1	197 63.3	138 44.4	209 67.2	16 5.1	9 2.9	52 16.7	16 5.1	7 2.3	2 0.6	30	48	76	68	44	31	3	5	4
東部	人数 %	78 45.6	106 62.0	87 50.9	102 59.6	72 42.1	113 66.1	14 8.2	11 6.4	38 22.2	17 9.9	1 0.6		25	20	48	27	17	17	11	4	2
総計	人数 %	772 45.0	1095 63.8	976 56.8	1115 64.5	764 44.5	1162 67.7	113 6.6	110 6.4	342 19.9	83 4.8	48 2.8	7 0.4	171	209	385	345	280	208	58	29	20

表31 乳幼児が今まで飲食した時の下痢や吐き気の状況

地域名	項目	牛乳を飲んだ時						重複回答 2	卵の入った食品						重複回答 2	大豆の食品						重複回答 2	肉やレバーの入った食品						重複回答 2
		いつも あった	時々 あった	なかった	わから ない	その他	無記入		いつも あった	時々 あった	なかった	わから ない	その他	無記入		いつも あった	時々 あった	なかった	わから ない	その他	無記入		いつも あった	時々 あった	なかった	わから ない	その他	無記入	
甲府	人数 %		13 6.2	192 91.0	2 0.9	3 1.4	1 0.5		2 0.9	9 4.3	195 92.4	2 0.9	2 0.9	1 0.5			1 0.5	205 97.2	3 1.4	1 0.5	1 0.5			2 0.9	203 96.2	5 2.4		1 0.5	
峡西	人数 %	1 0.4	10 3.9	240 93.1	2 0.8	4 1.6	1 0.4		1 0.4	10 3.9	243 94.2	2 0.8	3 1.2		1		3 1.2	252 97.7	2 0.8		1 0.4				255 98.8	3 1.2			
東山梨	人数 %	1 0.5	6 2.9	197 95.2	2 1.0	1 0.5			1 0.5	8 3.9	190 91.8	5 2.4	3 1.4				1 0.5	206 99.5						1 0.5	203 98.1	2 1.0		1 0.5	
東八代	人数 %	2 1.3	5 3.3	141 94.0	1 0.7	1 0.7			2 1.3	7 4.7	135 90.0		4 2.7	1 0.7			1 0.7	148 98.7		1 0.7			1 0.7		142 94.7	5 3.3	3 2.0		1
峡南	人数 %	1 0.6	7 4.1	136 94.8		1 0.6			2 1.2	9 5.2	155 90.1	3 1.7	2 1.2	1 0.6				170 98.8	2 1.2					1 0.6	168 97.7	3 1.7			
峡北	人数 %	3 1.3	7 3.0	222 93.7	1 0.4	4 1.7			1 0.4	10 4.2	213 89.9	1 0.4	1 0.4				2 0.8	230 97.0	3 1.3	2 0.8			1 0.4	3 1.3	225 94.9	5 2.1		3 1.3	
富士 山麓	人数 %	2 0.6	12 3.9	290 93.2	4 1.3	4 1.3		1	2 0.6	15 4.8	287 92.3	1 0.3	8 2.6		2		2 0.6	306 98.4	2 0.6	1 0.3				1 0.3	301 96.3	7 2.3	4 1.4		2
東部	人数 %		7 4.2	158 92.4	3 1.8	2 1.2	1 0.6		2 1.2	9 5.3	155 90.6	2 1.2	1 0.6	1 0.6				169 98.8	2 1.2					2 1.2	168 94.7	6 3.5		1 0.6	
総計	人数 %	10 0.6	67 3.9	1603 93.4	15 0.9	20 1.2	3 0.2	1	13 0.8	77 4.5	1573 91.6	16 0.9	24 1.4	4 0.2	3		10 0.6	1686 97.8	14 0.8	5 0.3	2 0.1		2 0.1	10 0.6	1659 96.6	36 2.1	7 0.4	6 0.3	3

表32 乳幼児の授乳期に繰り返して認められた症状

地域名	症状 項目	吐	嘔	下	便	湿	不	夜	ゼー	オムツ	特	わ	そ	無	重複回答						
		乳	吐	痢	秘	疹	機	泣	ゼー	かぶれ	に	から	の	入	1 個	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個	7 個
甲府	人数 %	18 8.5	5 2.4	13 6.2	28 13.3	28 13.3	6 2.8	23 10.9	18 8.5	57 27.0	80 37.9	4 1.9		10 4.7	150	30	16	4		1	
峡西	人数 %	22 8.5	9 3.5	10 3.9	29 11.2	32 12.4	3 1.2	28 10.9	15 5.8	47 18.2	119 46.8	3 1.2	3 1.2	9 3.5	200	34	10	3	2		
東山梨	人数 %	13 6.3	6 2.9	22 10.6	21 10.1	28 13.5	7 3.4	25 12.1	13 6.3	38 18.4	87 42.0	1 0.5	1 0.5	8 3.9	160	24	8	6		1	
東八代	人数 %	12 8.0	3 2.0	7 4.7	22 14.7	22 14.7	5 3.3	23 15.3	14 9.3	23 15.3	64 42.7		2 1.3	3 2.0	113	26	5		2		1
峡南	人数 %	15 8.7	5 2.9	8 4.7	30 17.4	22 12.8	3 1.7	18 10.5	15 8.7	42 24.4	69 40.1	3 1.7	1 0.6	12 7.0	117	27	9	5		1	1
峡北	人数 %	22 9.3	7 3.0	13 5.5	27 11.4	26 11.0	8 3.4	34 14.3	19 8.0	39 16.5	97 40.9	4 1.7	3 1.3	20 8.4	168	32	10	3		3	1
富士北麓	人数 %	23 7.4	8 2.6	23 7.4	48 15.4	34 10.9	7 2.3	34 10.9	19 6.1	31 10.0	148 47.6	3 1.0	6 1.9	19 6.1	232	42	10	5	1	1	1
東部	人数 %	13 7.6	5 2.9	12 7.0	16 9.4	20 11.7	1 0.6	20 11.7	16 9.4	27 15.8	79 46.2	4 2.3		13 7.6	119	27	9	2	1		
総計	人数 %	138 8.0	48 2.8	108 6.3	221 12.9	212 12.3	40 2.3	205 11.9	129 7.5	304 17.7	743 43.3	22 1.3	16 0.9	94 5.5	1259	242	77	28	6	7	4

ii) 卵の入った食品

乳幼児が卵の入った食品を食べた時の下痢や吐き気の有無については、いつもあったが13人(0.8%)、時々あったが77人(4.5%)となっており、下痢や吐き気のあった乳幼児は90人(5.3%)となっており、地域別では東部地域、峡南地域がやや多く、東山梨地域がやや少ない結果となっている。

iii) 大豆の入った食品

乳幼児が大豆の入った食品を食べた時の下痢や吐き気の有無については、いつもあったがなく、時々あったがわずかに10人(0.6%)と少なく、なかったが97.8%と大半を占める結果となっている。地域的には差異は認められなかった。

iv) 肉やレバーの入った食品

乳幼児が肉やレバーの入った食品を食べた時の、下痢や吐き気については、大豆食品と同様、いつもあったが2人、時々あ

たが10人(0.6%)と少なく、なかったが96.6%と大半をしめており、地域別では殆ど差異は認められなかった。

v) 乳幼児期に繰り返し認められた症状(表32参照)

乳児期に繰り返し認められた症状については、特にないが43.3%となっており、地域別では、富士北麓地域47.6%、峡西地域46.8%、東部地域46.2%と高く、甲府地域が37.9%と低い結果となっている。症状別では1位がオムツかぶれで、17.7%となっており、地域別では甲府地域、峡南地域が高く、富士北麓地域が低くなっている。2位は便秘の12.9%で、地域別では峡南地域が高く、東部地域が低くなっている。3位は湿疹で12.3%となっており、地域別では差異は認められなかった。4位は夜泣きで11.9%となっており、東八代地域、峡北地域が高くなっている。次いで吐乳、ゼーゼー、下痢と続いている。更に重複回答が

表33 乳幼児の現在の健康状態

地域名	項目	大変順調	まあ順調	痩せ過ぎ	太り過ぎ	よく発育が 悪いらしい	その他	無記入	重複回答
									2個
甲府	人数 %	83 39.3	113 53.6	11 5.2	3 1.4		1 0.5		
峡西	人数 %	86 33.3	146 56.6	14 5.4	6 2.3	2 0.8	7 2.4	1 0.4	4
東山梨	人数 %	76 36.7	114 55.1	7 3.4	7 3.4	1 0.5	3 1.4		1
東八代	人数 %	56 37.3	81 54.0	7 4.7	3 2.0		1 0.7	2 1.3	
峡南	人数 %	65 37.8	91 52.9	7 4.1	8 4.7		1 0.6		
峡北	人数 %	78 32.9	135 57.0	16 6.8	4 1.7	1 0.4	4 1.7	1 0.4	2
富士北麓	人数 %	104 33.4	176 56.6	21 6.8	4 1.3	3 1.0	5 1.6	1 0.3	3
東部	人数 %	49 28.7	99 57.9	15 8.8	5 2.9	1 0.6	3 1.8		1
総計	人数 %	597 34.8	955 55.6	98 5.7	40 2.3	8 0.5	25 1.5	5 0.3	11

364人、21.1%となっている。最高は7つも重複している乳幼児が4人もいる結果となっている。

以上、乳幼児の住環境や出生時の状況、食生活の状況について、アレルギー性疾患との関連を調査し報告してきたが、ともに顕著な関連は認められなかった。もともと、アレルギー性疾患は、色々なアレルゲンが絡み合って引き起こされるものであり、アレルゲンとなるものは、多岐にわたり、個々人にとっても違うことから、当然の結果とも受け止められよう。従って、一人ひとりの罹患児について、あらゆる面からアレルゲンを探索し、心身両面のトータルケアがアレルギー性疾患から乳幼児の苦痛を救う大切な方法であろう。

17 乳幼児の現在の健康状況（表33参照）

現在の乳幼児の健康状態を総合的に判断して、積極的に大変順調に成長しているでは、全体で597人で34.8%に止まっており、子供の健康について

不安や悩みをもっている保護者が多い結果となっている。地域別では、甲府地域が39.3%、峡南地域37.8%、東八代地域37.3%と高く、東部地域が28.7%と低い値となっている。まあ順調では、全体で55.5%と約半数を示しており、地域的には殆ど差異は認められなかった。痩せ過ぎ、太り過ぎ、よく病気をして発育が悪いを合わせた、発育に不安をもっている保護者は146人、8.5%となっている。

V まとめ

この度の調査は、急激に増加している乳幼児のアレルギー性疾患について、山梨県の全域を対象に、その罹患の状況を把握する目的で、住環境や食生活について、アンケート調査をおこなった結果である。

1 山梨県全体のアレルギー性疾患の罹患状況について

- (1) 山梨県全域についての、アレルギー性疾患の罹患者の状況は、全調査対象の、8,456人中、2,920人と35.2%と高い値を示した。
- (2) アレルギー性疾患の罹患者の家族別の罹患状況は、乳幼児、54.7%と顕著に高く、兄41.7%、姉37.1%、弟25.3%、妹18.3%と成長期の子供に多く、増加の傾向が認められた。
- (3) 疾病別で比較すると、乳幼児、兄弟姉妹の子供ではアトピー性皮膚炎の罹患率が高く、全体の罹患者の6割を占めている。また、両親を中心にした大人では、アレルギー性鼻炎の罹患率が高く、父母では、全罹患者の7~8割と高い値を示し、急激に増加している結果となっている。
- (4) 全世代とも共通して、アレルギー性疾患が重複して罹患している人が多く、殊に、乳幼児では、罹患児の4割にも達しており、なかでも4~7種類のアレルギー性疾患に罹患している子供もいた。

2 アレルギー性疾患の地域的比較について

- (1) 乳幼児に多いアトピー性皮膚炎では、気象条件の厳しい、富士北麓地域、湿度の高い峡南地域が罹患率が高く、次いで、果樹地帯で農薬散布の多い東山梨地域、東八代地域が続いている。
- (2) 父母に多いアレルギー性鼻炎について、峡南地域、甲府地域、峡西地域が罹患率が高くなっている。

3 アレルギー性疾患と住環境、出生時の状況、家庭での食生活の状況との関係について

- (1) アレルギー性疾患と罹患についてのかかわりは、特に顕著なかわりは認められなかった。このことは、アレルギー性の疾患を発現する、アレルゲンが個人によって異なり、複雑に絡み合っているためと推測される。

以上、今回はアンケート調査の各設問項目の集計を中心に報告した、次回の第2報では、それぞれの設問の関連性などについて報告する予定である。

謝 辞

このアンケート調査の実施に賛同いただき、調査の配布や回収に積極的にご協力いただいた、保育園の園長さんをはじめ保母の皆さんに感謝とお礼を申し上げます。

参考文献

- 1) 甲府地方気象台編集：山梨県の気象100年
- 2) 翠川洋子、那須 裕、丸地信弘、平林公男、藤田晴康：諏訪湖地域における幼児のアレルギー性疾患と環境因子に関する研究—保育園児保護者へのアンケート調査より—環境科学年報—信州大学—第13巻、1991
- 3) 上田 宏：アトピー性皮膚炎、日本小児科学会報、創刊号：17—22、1986
- 4) 馬場 実：こどもの喘息、5. 日本小児医事出版社、1986
- 5) 正木拓郎：アレルギー全書、法研、1994

山梨県における乳幼児の アレルギー性疾患についての調査

設問1, この調査を記入して戴いたのは, この調査を持ち帰られたお子さんから見てどなたですか。

ア, 父 イ, 母 ウ, 祖父 エ, 祖母 オ, その他〔 〕

設問2, あなたのお子さん(調査を持って帰られた)についてお答え下さい。

① 今, 何歳何ヶ月ですか。〔 歳 月〕

② 男のお子さんですか。女のお子さんですか。

ア, 男の子 イ, 女の子

③ お子さんは, 何子ですか。

ア, 第一子 イ, 第二子 ウ, 第三子 エ, 第四子 オ, 第五子

カ, 第六子 キ, 第六子以上 ク, その他〔 〕

設問3, あなたのご家庭で, 同居している方は(お子さんから見て)どなたですか。(兄弟姉妹がいらっしゃるときはその人数を〔 〕に記入)

ア, 祖父 イ, 祖母 ウ, 父 エ, 母 オ, 兄〔 人〕

カ, 姉〔 人〕 キ, 弟〔 人〕 ク, 妹〔 人〕

ケ, その他〔 〕

設問4, お子さんは, 今までにアレルギー性の疾患にかかられたり, 今もかかっていますか。あるものすべての記号を○で囲んで下さい。

ア, 今までかかったことがない イ, アトピー性の皮膚炎 ウ, 気管支ぜんそく エ, アレルギー性鼻炎(花粉症など) オ, ダニアレルギー カ, 食物アレルギー キ, ジンマシン ク, 湿疹 ケ, その他のアレルギー〔 〕

設問5, あなたのご家族の中に, いままでにアレルギー性の疾患にかかったり, 今もかかっている方や, その傾向のある方がいらっしゃいますか。いらっしゃったら例にならってお書き下さい。

① アトピー性皮膚炎 ② 気管支ぜんそく ③ アレルギー性鼻炎(花粉症など) ④ 食物アレルギー ⑤ ジンマシン ⑥ 湿疹 ⑦ ダニアレルギー ⑧ その他のアレルギー

〔例〕 祖父 〔 ② 〕 弟 〔 ①と③ 〕 母 〔 ⑤ 〕

_____〔 〕 _____〔 〕 _____〔 〕
 _____〔 〕 _____〔 〕 _____〔 〕
 _____〔 〕 _____〔 〕 _____〔 〕

設問6, あなたのお子さんは, アレルギー性の疾患で今までや, 今もお医者さんに診てもらったり, 治療を受けたことがありますか。

ア, 診てもらったり, 治療してもらったことはない イ, 診てもらったことがある ウ, 今もお医者さんで治療してもらっている エ, 今も時々お医者さんに行って診てもらっている
 オ, その他〔 〕

設問7, 今, お住みになっている家は, 下のどれに当たりますか。

① ア, 一戸建て イ, 集合住宅(アパート, マンションなど)の〔 階〕

② ア, 木造建築 イ, コンクリート建築 ウ, その他〔 〕

設問8, お子さんの寝室, よく遊ぶ部屋の床はどんなですか。

① 寝室の床は ア, 畳みの部屋 イ, カーペット, 絨毯の敷いてある部屋

ウ、板の間 エ、その他〔 〕

② よく遊ぶ部屋の床 ア、畳みの部屋 イ、カーペット、絨毯の敷いてある部屋

ウ、板の間 エ、その他〔 〕

設問9、お子さんが寝ているのはどれですか。

ア、ベット イ、敷布団を敷いて ウ、その他〔 〕

設問10、お子さんの敷布団や掛布団は主としてどれですか。

ア、綿 イ、羊毛 ウ、羽毛 エ、その他〔 〕

設問11、あなたのお宅では、現在ベットの飼っていますか。飼っている方は、ベットは何ですか。

ア、飼っていない イ、犬 ウ、猫 エ、兎 オ、リスやネズミ類 カ、鳥類 キ、その他〔 〕

設問12、お子さんは家にいるとき、主にどこでよく遊びますか。

ア、戸外 イ、家の中 ウ、戸外と家の中と同じくらい

エ、その他〔 〕

設問13、あなたのお子さんは、週に大体何回ぐらい入浴されますか。

ア、毎日 イ、6日 ウ、5日 エ、4日 オ、3日 カ、2日 キ、1日 ク、わからない

ケ、その他〔 〕

設問14、お子さんは、食べ物で好き嫌いがありますか。

ア、好き嫌いが多い イ、好き嫌いがある ウ、好き嫌いは殆どない エ、好き嫌いはない オ、わからない

カ、その他〔 〕

設問15、設問14で、好き嫌いが多い、好き嫌いがあると答えた方は、好きな食べ物、嫌いな食べ物を、それぞれ食品名で3つ挙げて下さい。(例、好きな食べ物・・ハンバーグ、スパゲティなど。嫌いな食べ物・・焼魚、ネギ、ピーマンの入った食べ物など)

① 好きな食べ物〔 〕,〔 〕,〔 〕

② 嫌いな食べ物〔 〕,〔 〕,〔 〕

設問16、あなたのご家庭での主食は何ですか。

ア、主として白米 イ、主として玄米などの自然食 ウ、主としてパン エ、その他〔 〕

設問17、あなたのご家庭で、献立の多いのはどれですか。

ア、和食 イ、洋食 ウ、中華 エ、その他〔 〕

設問18、お子さんのお産のときの様子を、お母さんにお聞きします。

① お産の状態はどうでしたか。ア、安産 イ、普通 ウ、難産

② 出産時のお子さんの様子はどうでしたか。ア、未熟児 イ、正常児 ウ、過熟児

③ お子さんの出産時の体重は何gでしたか。〔 〕g

設問19、お子さんが授乳期に主に何を与えましたか。

ア、母乳だけ イ、母乳が殆どで足りない分を人工乳で ウ、人工乳が殆どで時々母乳を エ、人工乳だけで オ、その他〔 〕

設問20、お母さんが妊娠中や授乳期に、こころがけて毎日食べたり、多く食べたものがありますか。

① 妊娠中

ア、毎日食べたものがある。それは〔 〕

イ、多く食べたものがある。それは〔 〕

ウ、特に毎日食べたり、多く食べたりしたものはない

② 授乳をしている期間中

ア、毎日食べたものがある。それは〔 〕

イ、多く食べたものがある。それは〔 〕

ウ、特に毎日食べたり、多く食べたりしたものはない

設問21, お母さんが, お子さんを妊娠中, 以下のことはどうでしたか。

① 卵は1日何個ぐらい食べましたか。

ア, 毎日2〜3個ぐらい イ, 毎日1個ぐらい ウ, 週に3〜4個ぐらい エ, 殆ど食べなかった
オ, その他〔 〕

② タバコは吸っていましたか。

ア, 吸っていなかった イ, 一日4本以下 ウ, 一日5〜9本 エ, 一日10〜20本 オ, 20本以上
カ, その他〔 〕

③ アルコール類(ビール, お酒, ウイスキーなど)は飲みましたか。

ア, 飲まなかった イ, 時々飲んだ ウ, 毎日飲んだ

④ コーヒー, 紅茶などは飲みましたか。

ア, 飲まなかった イ, 時々飲んでいて ウ, 毎日飲んでいて

⑤ お子さんを妊娠中, 家事以外の仕事(お勤めなど)をしていましたか。

ア, していた イ, していなかった ウ, その他〔 〕

設問22, お子さんの離乳食は, いつ頃始めましたか。〔 〕歳〔 〕ヶ月

① 主にどんな離乳食を与えましたか。

ア, 手作りのもの イ, 市販のもの ウ, 手作りとし販の混合 エ, よく覚えていない
オ, その他〔 〕

② お子さんはどんな離乳食を好んだり, 嫌がったりしましたか。

☆ 好んだ離乳食は〔 〕,〔 〕,〔 〕

☆ 嫌がった離乳食は〔 〕,〔 〕,〔 〕

設問23, お宅でお子さんによく食べさせている食べ物は何か。当てはまるもの総てを選んで下さい。

ア, 卵 イ, 牛乳 ウ, 緑黄色野菜 エ, 果物 オ, 肉
カ, 魚 キ, ビタミン ク, ミネラル ケ, カルシウム
コ, 特になし サ, その他〔 〕

設問24, お子さんは今まで, 以下のようなことがありましたか。

① 牛乳を飲むと下痢をしたり, 吐いたりしたことがありましたか。

ア, いつもあった イ, 時々あった ウ, なかった エ, わからない オ, その他〔 〕

② 卵や卵の入っている食品を食べると, 下痢をしたり, 吐いたり, 湿疹がでたりしたことがありましたか。

ア, いつもあった イ, 時々あった ウ, なかった エ, わからない オ, その他〔 〕

③ 大豆食品(豆腐, 納豆など)を食べると, 下痢をしたり, 吐いたり, 湿疹がでたりしたことがありましたか。

ア, いつもあった イ, 時々あった ウ, なかった エ, わからない オ, その他〔 〕

④ 肉, レバー類を食べると, 下痢をしたり, 吐いたり, 湿疹がでたりしたことがありましたか。

ア, いつもあった イ, 時々あった ウ, なかった エ, わからない オ, その他〔 〕

設問25, お子さんの乳児期に, 繰り返して認められた, 以下のような症状はありましたか。あったもの
総ての記号を○で囲んで下さい。

ア, 吐乳 イ, 嘔吐 ウ, 下痢 エ, 便秘 オ, 湿疹 カ, 不機嫌 キ, 夜泣き ク, ゼーゼー ケ,
おむつかぶれ コ, 特になし サ, 分からない シ, その他〔 〕

設問26, お子さんの発育は順調ですか。

ア, 大変順調だと思う イ, まあ順調だと思う ウ, 痩せ過ぎていてやや心配である エ, 太り過
ぎていてやや心配である オ, よく病気をして発育が悪く心配である
カ, その他〔 〕

